

サーマルプリンタ

# MP-A40 シリーズ

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、  
正しくお取り扱いください。  
お読みになった後も必要なときすぐ見られるよう、  
大切に保管してください。

セイコーインスツル株式会社

U00137990200	2016年 08月
U00137990201	2016年 11月
U00137990202	2018年 01月
U00137990203	2019年 08月
U00137990204	2020年 04月
U00137990205	2021年 06月
U00137990206	2021年 09月

©セイコーインスツル株式会社 2016-2021

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

**SII ●** はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。

Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

Apple®, iPhone®, iPad®, iPod®はApple Inc.の登録商標です。

iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

IOS(iOS)は、Cisco System, Inc.の米国およびその他の国における  
商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を運用した結果の影響による損失については、当社は一切の責任を負いかねます。

本製品は、産業機器用途の製品として開発されています。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を  
引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、RoHS指令（2011/65/EU）に適合しております。

Bluetooth搭載モデルは、電波法に基づく技術基準適合証明（認証番号：R209-J00171）を受けた  
特定無線設備を内蔵しております。

無線LAN搭載モデルは、電波法に基づく技術基準適合証明（認証番号：011-160007）を受けた  
特定無線設備を内蔵しております。

IEEE802.11a/n(W52、W53)の使用は電波法により屋内に限定されます。

W56は屋外での使用が可能です。

# 1 はじめに

このたびはサーマルプリンタMP-A40シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書では、サーマルプリンタMP-A40（以後、プリンタと呼びます）とオプション製品のバッテリパック、ACアダプタ、ACケーブル、カーチャージャ、充電器の取り扱い方法について説明しています。

ご使用の前に、必ず「2 安全上の注意」「3 お取り扱い上の注意」をよくお読みの上、製品を安全に正しくお取り扱いください。



この取扱説明書は、お読みになった後も、必要な時すぐに見られるよう、大切に保管してください。  
プリンタの詳細な機能や仕様については、「MP-A40シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

この取扱説明書の構成は以下のようになっています。

1	はじめに .....	1
2	安全上の注意 .....	2
3	お取り扱い上の注意.....	7
4	準備 .....	11
5	機種分類 .....	13
6	プリンタの各部の名称 .....	14
7	プリンタのLED表示 .....	16
8	電源の接続方法 .....	19
9	感熱紙のセット方法.....	23
10	テスト印字 .....	27
11	機能設定 .....	33
12	ホスト装置と接続する .....	36
13	紙幅の設定方法 .....	40
14	ベルトクリップ／ショルダストラップの取り付け .....	44
15	バッテリパックの充電 .....	49
16	カーチャージャによる充電 .....	53
17	充電器による充電 .....	58
18	プリンタのメンテナンス .....	65
19	困った時に .....	66
20	仕様 .....	67
21	オプション製品、消耗品構成.....	71
22	メモリスイッチ設定内容一覧.....	72

## 2 安全上の注意

この安全上の注意では製品を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、以下の記号を使って注意事項を喚起しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



左の絵表示は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



左の絵表示は禁止行為であることを告げるものです。



の表示例は「分解禁止」を表しています。



左の絵表示は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。























の表示例は「電源プラグをコンセントから抜いてください」ということを表しています。








## ■ご使用上の注意

以下の説明の中の「製品」とは、プリンタとオプション製品のバッテリーパック、ACアダプタ、ACケーブル、カーチャージャ、充電器を示します。



### 警告



以下の事項は絶対に行わないでください。火災や感電、事故の原因になります。	
	製品の分解や改造をしないでください。
	製品を濡らさないでください。
	濡れた手で製品に触らないでください。
	製品の内部や隙間に金属片や水などの異物をいれないでください。
	製品の端子、電源コネクタ、ACプラグ、DCプラグやシガープラグの端子部に、ほこりや金属物を付着させないでください。
	製品の端子、電源コネクタ、ACプラグ、DCプラグやシガープラグの端子部に触れないでください。 製品の端子間、電源コネクタの端子間、ACプラグの端子間、DCプラグの端子間や、シガープラグの端子間を金属などの導体でショートさせないでください。
	製品のACプラグ、DCプラグやシガープラグは挿し込みが不完全な状態で使わないでください。
	ACケーブル、ACプラグ、DCプラグやシガープラグを破損させないでください。ケーブルを無理に曲げる、上に重いものを載せる、ひっぱる、ねじるなどの破損させる行為をしないでください。
	プリンタには指定のバッテリーパック、ACアダプタ、ACケーブル、カーチャージャ以外は使用しないでください。
	ACアダプタは指定のプリンタ、充電器以外には使用しないでください。
	ACアダプタには指定のACケーブル以外は接続しないでください。
	充電器には指定のバッテリーパック、ACアダプタ、ACケーブル以外は使用しないでください。
	充電器にはカーチャージャを接続しないでください。
	ACアダプタやカーチャージャは、指定された電源電圧以外で使用しないでください。
	バッテリーパックは指定のプリンタ、充電器以外では充電しないでください。
	バッテリーパックの充電は指定の温度範囲で行ってください。漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあります。

	バッテリーパックは火の中へ投げ入れたり、加熱したりしないでください。
	バッテリーパックは炎天下、車内や火のそばなど、高温になる場所に放置しないでください。漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあります。
	バッテリーパックをハンマーで叩く、釘で刺す、押しつぶすなど強い衝撃を与えないでください。
	運転中は印字しないでください。排出された感熱紙が運転の妨げになることがあります。



以下の事項は絶対に守ってお使いください。火災や感電、事故の原因になる可能性があります。	
	製品は法規制に適合している国でのみご使用ください。 製品安全を確保できない危険がある上、法規違反に問われる場合があります。
	ACプラグ、DCプラグやシガープラグを抜く時はプラグ部分を持って外してください。
	ACアダプタを接続する時は、プリンタの電源を切ってください。ACアダプタのDCプラグを接続してからACプラグをコンセントに挿してください。
	カーチャージャを接続する時は、プリンタの電源を切ってください。カーチャージャのDCプラグを接続してからシガープラグを車のアクセサリソケットに挿入してください。
	バッテリーパックを着脱する時は、プリンタの電源を切ってください。
	充電器を使用した後は、ACプラグをコンセントから外してください。また、バッテリーパックは充電器から取り外してください。
	カーチャージャを使用した後は、シガープラグを車のアクセサリソケットから外してください。

## 異常発生時の対応










以下のような場合は記載内容に従ってください。火災や感電、事故の原因になる可能性があります。	
	製品が以下のような場合は、プリンタの電源を切り、ACプラグをコンセントから抜いてください。（カーチャージャをご使用の場合は、シガープラグを車のアクセサリソケットから抜いてください。）さらにバッテリーパックを外してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 異常状態から回復できない時</li> <li>◆ 異臭がする、煙が出た、異常に熱い、または異常音の発生など通常と異なる時</li> <li>◆ 内部や隙間に、金属片や水などの異物が入った時</li> <li>◆ ケースが壊れた時</li> </ul>
	ACアダプタ、ACケーブルのケーブルが傷んだ場合は、ACプラグをコンセントから抜いてください。傷んだACアダプタ、ACケーブルは使用しないでください。 カーチャージャのケーブルが傷んだ場合は、シガープラグを車のアクセサリソケットから抜いてください。ケーブルの傷んだカーチャージャは使用しないでください。




	<p>バッテリーパックが以下のような場合は、プリンタまたは充電器から取り外し、使用を中止するとともに火気に近づけないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 異臭がする、煙が出た、または異常に熱いなど通常と異なる時</li> <li>◆ ケースが壊れた時</li> <li>◆ 液が漏れてきた時</li> </ul>
	<p>バッテリーパックから出てきた液が目に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。</p> <p>失明の原因になります。</p>

## 無線通信

以下の事項を守ってお使いください。	
	航空機内など、使用が禁止されている地域や区域では電源をお切りください。
	医療用機器や電子機器に影響を及ぼす場合があります。各機器メーカーあるいは販売元に電波による影響についてご確認ください。

## 注意

以下の事項を守ってお使いください。火災や感電、事故の原因になる可能性があります。	
	製品を長期間使用しない場合やお手入れの際は、電源を切り、ACプラグをコンセントから抜いてください。さらにバッテリーパックをプリンタまたは充電器から外してください。
	<p>製品を以下のような場所で使用、保管しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 車中など直射日光の当たる場所、高温になる場所</li> <li>◆ 湿気や埃の多い場所、水分のかかる可能性がある場所</li> <li>◆ 振動の激しい場所、不安定な場所</li> </ul>
	製品を使用する際は、上に布などをかぶせないでください。
	印字直後のサーマルヘッドは高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。紙詰まり除去やヘッドクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行ってください。
	紙排出口にはプリンタ本体側とペーパーカバー側の2ヶ所にペーパーカッターがあります。ペーパーカッターには直接手を触れないでください。特にペーパーカバー開放時には、ペーパーカッターに触れやすくなりますので十分に注意してください。
	プリンタの動作中に髪の毛等の巻き込まれやすいものをプリンタに近づけないでください。それらがプリンタ内部に巻き込まれた場合には、ケガや故障の原因となります。
	プリンタまたは充電器にバッテリーパックを装着する際は、バッテリーパックをしっかり装着、固定してください。バッテリーパックが外れ、ケガや故障の原因となります。
	ベルトクリップを使用する際は、必ずバッテリーパックをプリンタに装着してください。バッテリーパックが装着されていないとベルトクリップが簡単に外れるため、プリンタが落下し、ケガや故障の原因となります。
	ショルダストラップを使用する際は、ショルダストラップをプリンタにしっかり装着してください。プリンタが落下し、ケガや故障の原因となります。

	ベルトクリップまたはショルダストラップを使用する場合、バッテリーパックが直接皮膚に当たらないようにしてください。長時間接触状態が続くと低温やけどを起こす場合があります。
	乳幼児の手の届かないところに置いてください。
	バッテリーパックから出てきた液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。



### 3 お取り扱い上の注意

製品の性能を発揮、維持するために、以下のことに注意して正しくお使いください。

#### ■ ご使用に際して

##### 使用環境に関する項目

- ◆ 落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
- ◆ 直射日光が当たる場所には置かないでください。
- ◆ 周囲の温度や湿度に気を付けてください。

使用に適した環境は以下のとおりです。

	温度範囲	湿度範囲
バッテリー駆動	-20℃～50℃	10%RH～90%RH（結露なきこと）
ACアダプタ駆動	0℃～40℃	20%RH～80%RH（結露なきこと）
充電	0℃～40℃	20%RH～80%RH（結露なきこと）

各温度での保証可能湿度は「MP-A40シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

- ◆ 複写機のモータなど強い磁気を発生するもののそばに置かないでください。
- ◆ 腐食性ガスやシロキサン雰囲気のある場所などには設置しないでください。
- ◆ ACアダプタやACケーブルは、ノイズを発生する装置と同じコンセントに接続しないでください。

##### 使用・動作時に関する項目

- ◆ 感熱紙をセットしない状態で印字はしないでください。
- ◆ 感熱紙同士をセロハンテープ等でつなぎ合わせての使用はしないでください。
- ◆ 感熱紙をセットした状態で、感熱紙を無理に手で引っ張ったりすることは絶対にしないでください。
- ◆ 印字中はペーパーカバーを開放しないでください。
- ◆ 印字中は感熱紙に触れないでください。排出中に手で押さえたり、引っ張ったりすると紙ジャムや改行不良の原因になります。
- ◆ 印字中及び通信中にインタフェースケーブルの着脱はしないでください。  
また、印字中にインタフェースケーブルのプラグ部分には触らないでください。
- ◆ プリンタを取り扱う際には、静電気に十分ご注意ください。静電気が放電されると、USB通信が切断されることがあります。  
この問題が発生した場合、プリンタに接続されているUSBプラグをホスト装置より取り外し、数秒の時間をあけ再度接続してください。
- ◆ 印字中及び通信中にバッテリーパック、ACアダプタを外さないでください。
- ◆ バッテリーパックを電源とした印字中及び通信中にACアダプタを接続しても、その印字や通信が完了するまでは、バッテリーパックからの電源供給が継続されます。  
バッテリーの残量不足により印字が途中で停止した場合は、ACアダプタを接続してから印字及び通信を再開してください。
- ◆ サーマルヘッドに水分が付着した状態で使用しないでください。故障の原因となります。
- ◆ 低温環境や高印字率で印字を行った場合、印字に乱れが生じたり、印字音が大きくなる場合があります。ただし、これは感熱紙の性質上発生する現象であり、プリンタの故障ではありません。

- ◆ 高印字率で連続印字を行った場合、プリンタの温度検出によりヘッド温度エラーになることがあります。プリンタの温度が下がると印字を再開します。この時、機能設定で「エラー時データ破棄」が「有効」になっていた場合、エラー中に送信された印字データは消失します。
- ◆ 低温でバッテリーパックを使用している場合、プリンタを使用できる時間が短くなることがあります。
- ◆ POWER LEDに表示されるバッテリーパックの残量表示は目安です。プリンタの使用状況により残量が大きく変化する場合がありますので、バッテリーパックの充電は余裕をもって行ってください。
- ◆ バッテリーパックの充電は、周囲温度及びバッテリーパックの温度が0℃～40℃の状態で行ってください。
- ◆ バッテリーパックの充電時間は、周囲の温度やバッテリーパックの状態により変わります。バッテリーを使い切った状態から充電完了までの時間は、プリンタまたは充電器PWC-A071-A1で充電を行った場合、約4時間です。4連充電器PWC-A074-A1を使用した場合は、約5時間かかります。
- ◆ バッテリーパック、ACアダプタ、カーチャージャは使用中に若干熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- ◆ 充電器を使用した後は、ACプラグをコンセントから抜いてください。また、バッテリーパックは充電器から取り外してください。
- ◆ 紙幅の設定は初めてプリンタをご使用される前に行ってください。プリンタのご使用を始められた後は、紙幅を切り替えないでください。故障する恐れがあります。
- ◆ 感熱紙は必ず指定感熱紙をお使いください。指定感熱紙については、「21 オプション製品、消耗品構成」を参照してください。
- ◆ サーマルヘッドには直接触れないでください。汚れによる印字品質の低下や静電気による破損の恐れがあります。
- ◆ 感熱紙を交換する時など、ペーパーカバー開放時にはサーマルヘッド、ペーパーセンサ、プラテンローラに直接手を触れないようにご注意ください。ケガや故障の原因となります。
- ◆ 紙排出口にはプリンタ本体側とペーパーカバー側の2ヶ所にペーパーカッタがあります。ペーパーカッタには直接手を触れないでください。特にペーパーカバー開放時には、ペーパーカッタに触れやすくなりますので十分に注意してください。
- ◆ ペーパーカバー等の開閉時に手や指等をはさまないようにしてください。
- ◆ ペーパーカッタでラベル紙の剥離紙部分以外を切断するとラベル紙の糊がペーパーカッタに付着し、切断性が低下することがあります。
- ◆ カーチャージャは充電専用です。プリンタにバッテリーパックが装着されていない状態では、カーチャージャを接続しても印字はできません。
- ◆ カーチャージャによるバッテリーパックの充電は、車のエンジンが掛かっている時またはアクセサリ状態の時に行えます。アクセサリ状態で使用する場合は、車のバッテリーの残量が十分に残っていることを確認の上使用してください。
- ◆ カーチャージャを使用した後は、シガープラグを車のアクセサリソケットから必ず抜いてください。
- ◆ 運転中は、印字しないでください。排出された感熱紙が運転の妨げになることがあります。
- ◆ 製品内部へクリップ、虫ピン、ネジ等の異物などを落としたり入れたりしないでください。
- ◆ 製品に液体などをこぼしたり、薬剤などを吹きかけたりしないでください。
- ◆ 操作パネル部の操作はペン先などの鋭利なものでは絶対に行わないでください。
- ◆ 板金のエッジ部等で、身体や他の物を傷つけないように注意してください。
- ◆ 使用中に異常が発生したら直ちに使用を中止し、ACプラグやシガープラグをコンセントや車のアクセサリソケットから抜いてください。さらにバッテリーパックを外してください。

- ◆ サーマン以外、プリンタの分解等を行わないでください。
- ◆ キャリングケースを使用中にプリンタが落下しないように、面ファスナーをしっかりと閉めてください。
- ◆ キャリングケースは、装着により落下耐性や防水性を向上させるものではありません。

## 無線通信に関する項目

- ◆ Bluetoothインタフェース使用時、通信時の周囲の電波環境により、通信が正しく行われなことがあります。これは無線通信規格であるBluetoothの仕様によるものです。
- ◆ Bluetooth搭載モデルは2.4GHz帯を使用します。無線LAN搭載モデルのIEEE802.11b/g/nは2.4GHz帯、IEEE802.11a/nは5GHz帯を使用します。他の無線LANネットワークや電子レンジ等の同一周波数帯を使用する機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信が不安定になることがあります。この場合、干渉の起こる機器の電源を切るか距離を離してください。または、ホスト装置とプリンタをできるだけ近づけてください。
- ◆ 無線LAN搭載モデルのIEEE802.11a/nを使用時、気象レーダーや航空管制レーダーなどに影響を及ぼさないため、該当チャンネルに電波を出力する前に、通信を一時的に停止する場合があります。これは一定時間レーダーの電波の有無を監視するためです。また、動作中にレーダーなどの電波を検知した際には、他のチャンネルに切替える場合があります。

## メンテナンスに関する項目

- ◆ 製品のケースが汚れている時は、柔らかい布で汚れを拭き取ってください。アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
- ◆ 各接続端子が汚れている時は、使用になる前に乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。汚れていると接触不良の原因になります。
- ◆ サーマルヘッドクリーニング時は、必ず綿棒などのやわらかいもので拭いてください。
- ◆ キャリングケースが汚れている時は、水を含ませ強く絞った布で拭いてクリーニングしてください。
- ◆ キャリングケースの内側が濡れた時は、乾燥させた後に使用してください。

## 保管に関する項目

- ◆ ご使用にならない時は、電源を切ってください。  
さらに長時間使用しない場合は、
  - ACプラグをコンセントから抜いてください。
  - バッテリーパックを外してください。過剰放電となり、充電してもご使用できなくなります。
  - プラテン保護のため、感熱紙をセットしてください。
- ◆ 長期保管の際には、バッテリーパックは涼しい場所にて保管してください。また、満充電状態での長期保管はなるべく避けてください。寿命に悪影響を及ぼします。

## ■感熱紙のお取り扱いについて

- ◆ 乾燥した冷暗所に保存してください。
- ◆ 固いもので強くこすらないでください。
- ◆ 有機溶剤の近くに置かないでください。
- ◆ 塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。
- ◆ 複写直後のジアゾコピーとは重ねないでください。
- ◆ 糊付けする時は化学糊を使わないでください。

## ■廃棄時の注意事項

ご使用済みの製品を廃棄する時は、各自治体の条例または規則に従って廃棄してください。

## ■表記について

次のページ以降では「2 安全上の注意」で示した記号のほか、取り扱い上の注意事項や知っておいていただきたい事項を、以下のように表記して区分しています。

### — 注 意 —

#### ◆ 取り扱い上の注意事項

守らないと製品の性能を発揮できない、またはプリンタの故障の原因となる注意事項です。

### — ヒント —

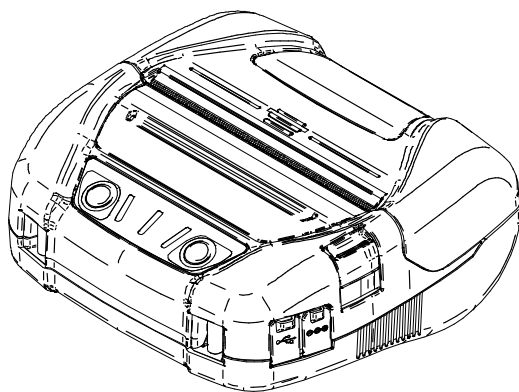
#### ● 知っておいていただきたい事項

製品の性能や操作する上で知っておいていただきたい事項を説明しています。

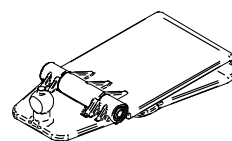
## 4 準備

プリンタと付属品が入っていることを確認してください。

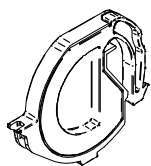
梱包箱と梱包材は再輸送や長期保管の時にご使用できますので、大切に保管してください。



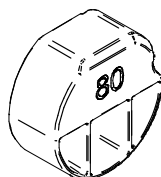
プリンタ



ベルトクリップ



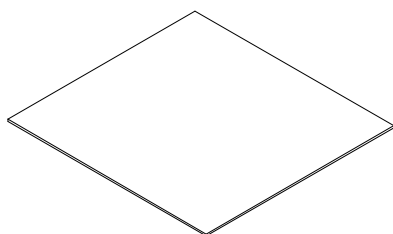
パーティションプレート



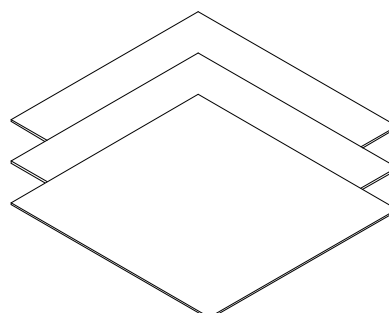
パーティションプレート  
アタッチメント80



パーティションプレート  
アタッチメント100



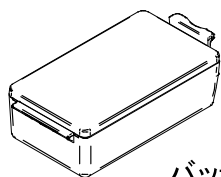
クイックスタートガイド 1枚



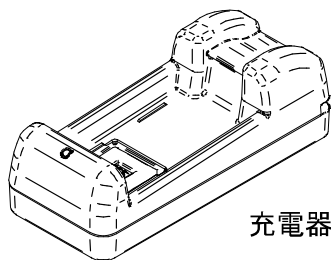
安全上の注意 1組(3枚)

オプション製品には以下のものが用意されています。

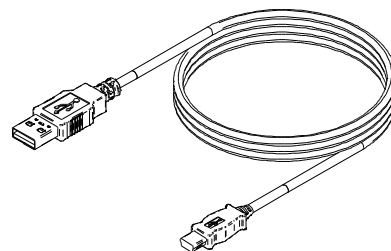
「20 仕様」「21 オプション製品、消耗品構成」に記載されている指定製品を必ずお買い求めください。



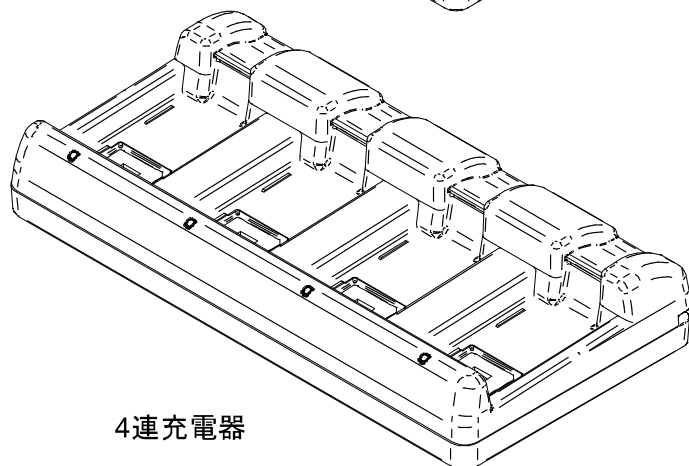
バッテリー



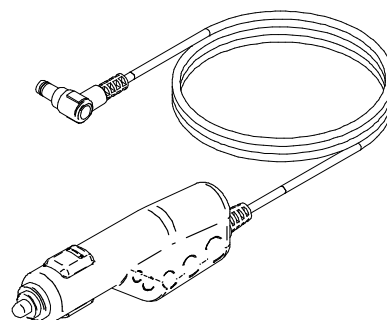
充電器



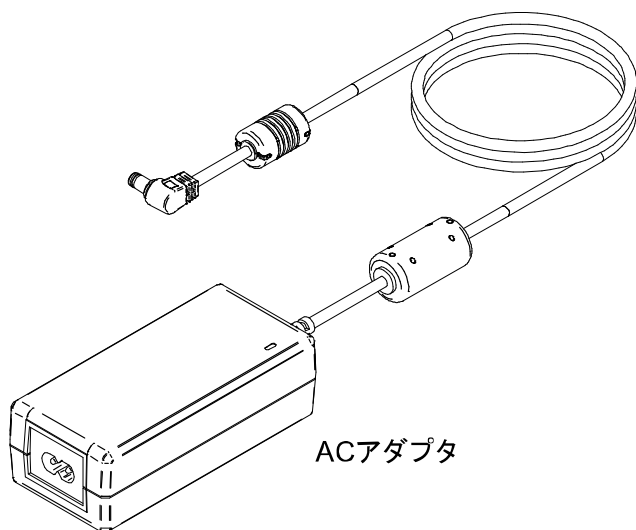
USBインターフェースケーブル



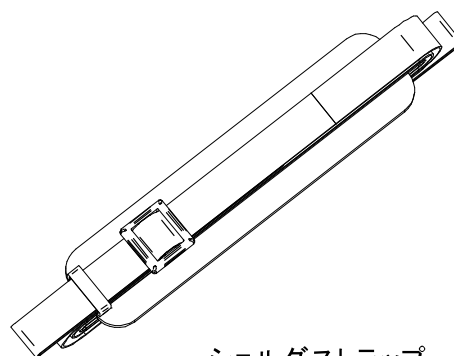
4連充電器



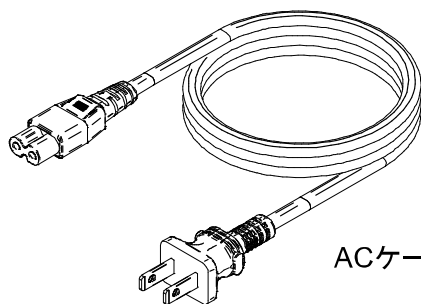
カーチャージャ



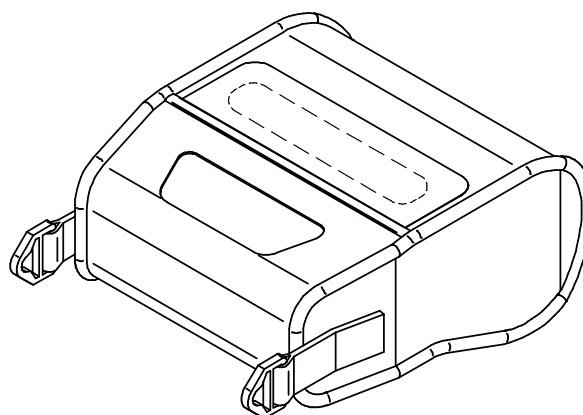
ACアダプタ



ショルダストラップ



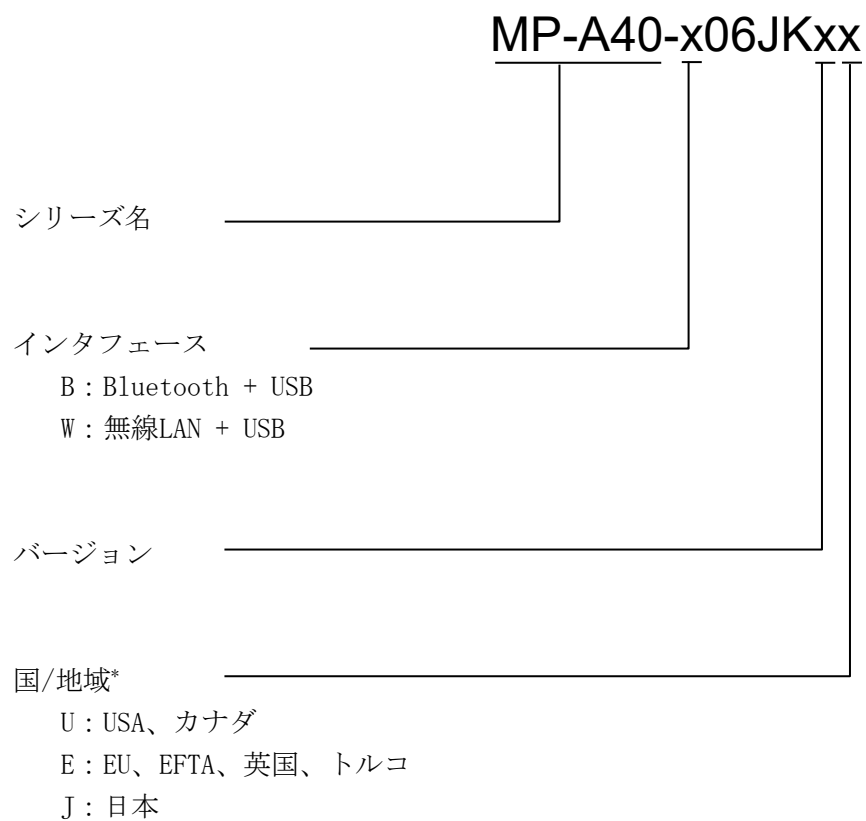
ACケーブル



キャリングケース

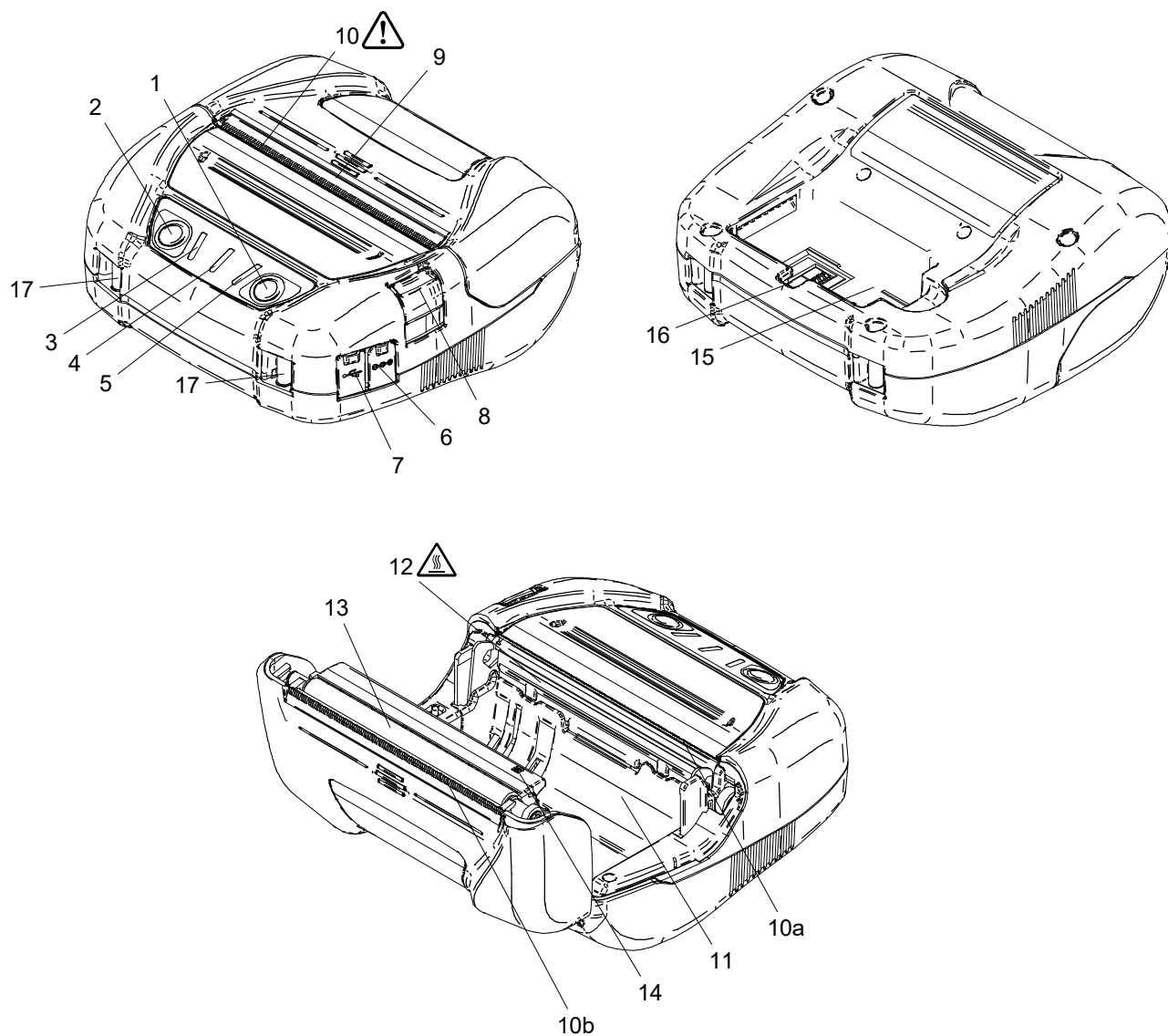
## 5 機種分類

下記の形式呼称方法により区分されます



\* 無線LAN搭載モデルのみ

## 6 プリンタの各部の名称





## 1 電源スイッチ

電源のオン、オフを切り替えるスイッチです。電源を入れるとPOWER LEDが点灯します。電源を切る時は、1秒以上押し続けてください。

## 2 フィードスイッチ

紙送りを行うスイッチです。押し続けると、感熱紙が連続して送り出されます。

マークモード時、このスイッチを1回押すと、感熱紙の頭出しを行います。

## 3 ERROR LED

プリンタに異常が起こった時に点灯します。詳しくは「7 プリンタのLED表示」を参照してください。

## 4 POWER LED

電源を入れると点灯します。詳しくは「7 プリンタのLED表示」を参照してください。

## 5 WIRELESS LED

無線通信（Bluetooth／無線LAN）の接続状態を表示します。詳しくは「7 プリンタのLED表示」を参照してください。

## 6 電源コネクタ

ACアダプタ、カーチャージャを接続します。カバーを開けてDCプラグを挿し込みます。

## 7 USBインタフェースコネクタ

USBインタフェースケーブルを接続します。カバーを開けてケーブルを挿し込みます。

## 8 ペーパーカバーオープンボタン

ペーパーカバーを開けるためのボタンです。

## 9 ペーパーカバー

このカバーを開けるとプラテンが感熱紙から離れます。感熱紙の交換やサーマルヘッドをクリーニングする時に開けてください。

## 10 紙排出口

感熱紙が排出されます。プリンタ本体側とペーパーカバー側の2ヶ所にペーパーカッターがあります（10a、10b）。ペーパーカッターには触れないよう注意してください。

## 11 ペーパーホルダー

感熱紙をセットします。

## 12 サーマルヘッド

感熱紙にデータを印字します。印字直後は高温になりますので、手で直接触れないように注意してください。

## 13 プラテン

感熱紙とサーマルヘッドを密着させます。回転することにより感熱紙の紙送りを行います。

## 14 ペーパーセンサ

感熱紙の有無やマーク検出用のセンサです。

## 15 バッテリーパック装着部

オプションのバッテリーパックを装着します。

## 16 ベルトクリップ取り付け部

ベルトクリップをこの部分に取り付け、プリンタを携帯できるようにします。

## 17 ショルダストラップ取り付け部

オプションのショルダストラップをこの部分に取り付け、プリンタを携帯できるようにします。

# 7 プリンタのLED表示

## ■プリンタのLED表示

プリンタの3つのLEDでプリンタの状態を表示します。

- ERROR LED および POWER LED : 表 7-1 プリンタの状態表示
- WIRELESS LED : 表 7-2 Bluetooth/無線LAN通信の状態表示

表 7-1 プリンタの状態表示

状態の種類	プリンタの状態		ERROR LED		POWER LED	
			色	点灯パターン	色	点灯パターン
電源/充電 状態	電源オフ		－	消灯	－	消灯
	電源 オン	ACアダプタのみ接続*1、 バッテリーレベル1*2	「エラー状態」を表示*3		緑	点灯
		バッテリーレベル2*2			緑	点滅-1
		バッテリーレベル3*2			橙	点滅-3
		バッテリーレベル4*2			橙	点滅-4
		バッテリーレベル5*2			赤	点滅-1
		充電中			橙	点灯
		充電温度エラー			赤	点滅-3
		カーチャージャのみ接続*1			緑	点滅-4
エラー状態	紙無しエラー、 マーク検出時紙ジャムエラー、 ペーパーカバーオープンエラー	赤	点灯	「電源/充電状態」を 表示		
	出力バッファフル	赤	点滅-1			
	ヘッド温度エラー、 バッテリー温度エラー	赤	点滅-2			
	電圧エラー バッテリーエラー	赤	点滅-3			
	ハードウェアエラー	赤	点滅-2	赤	点滅-2	
動作モード	初期化中		赤	点灯	－	消灯
	ファームウェア書き換えモード 中		赤	点滅-3	－	消灯
	ファームウェア書き換え中*4		赤	点滅-4	－	消灯
	フラッシュメモリ書き換え中*5		赤	点滅-4	「電源/充電状態」を 表示	
	機能設定モード中		－	消灯	赤	点灯

\*1：バッテリーパックが装着されていない状態です。

\*2：ACアダプタとの接続の有無にかかわらず、POWER LEDはバッテリーの残量を表示します。

\*3：ハードウェアエラー以外のエラー状態を表示します。

\*4：ファームウェアを書き換えていますので、この状態を表示中は電源を切らないでください。

\*5：フラッシュメモリを書き換えていますので、この状態を表示中は電源を切らないでください。

表 7-2 Bluetooth/無線LAN通信の状態

無線通信の状態	WIRELESS LED	
	色	点灯パターン
無線オフ	－	消灯
接続中	青	点灯
未接続	青	点滅-2
無線通信初期化中	青	点滅-4
ペアリングモード中*	青	点滅-3

\* : Bluetooth搭載モデルで、機能設定の検索応答選択をペアリングモードに設定している場合のみ。

表 7-3 LEDの点滅パターン





状態	パターン
点滅-1	
点滅-2	
点滅-3	
点滅-4	

表 7-4 バッテリーの残量目安

バッテリーの残量状態	残量
バッテリー レベル1	約80%
バッテリー レベル2	約40%
バッテリー レベル3	約10%
バッテリー レベル4	要充電*
バッテリー レベル5	0%(停止)

\*: すぐに充電してください。印字内容によっては印字途中で印字できなくなることがあります。

## ヒント

- POWER LEDに表示されるバッテリーパックの残量表示は目安です。プリンタの使用状況により残量が大きく変化する場合がありますので、バッテリーパックの充電は余裕をもって行ってください。

## ■エラー内容とその復帰方法

エラーが起きると印字動作を停止します。ただし、データ受信は行います。以下にエラー内容とその復帰方法を示します。

表 7-5 エラー内容とその復帰方法

エラー	エラー内容	復帰方法	優先順位 <sup>*1</sup>
充電温度エラー <sup>*2</sup>	バッテリーパックの温度が動作温度（充電時）の範囲外のため、充電を中断しています。	バッテリーパックの温度が動作温度（充電時）の範囲内になると充電を再開します。周囲の温度が0～40℃の場所でしばらく待ってください。	－
カーチャージャのみ接続 <sup>*2</sup> （バッテリーパック未装着）	バッテリーパックが接続されておらず、印字ができない状態です。	バッテリーパックとカーチャージャの両方を接続してください。 <sup>*3</sup>	－
出力バッファフル	プリンタの出力バッファがフルの状態です。	ホスト装置より応答データの読み出しを行ってください。	1
紙無しエラー	感熱紙がない状態です。	ペーパーカバーを開けて感熱紙をセット後、ペーパーカバーを閉めてください。	2
マーク検出時紙ジャムエラー	マークが検出できませんでした。	マーク紙を使用してください。	
ペーパーカバーオープンエラー	ペーパーカバーが開放状態です。	ペーパーカバーを閉めてください。	3
電圧エラー	ACアダプタまたはカーチャージャの電圧が許容範囲外です。	ACアダプタまたはカーチャージャを交換してください。	4
ヘッド温度エラー	プリンタのヘッド温度が動作温度範囲外になっています。	プリンタのヘッド温度が動作温度範囲内になると自動復帰します。周囲の温度が-20～50℃の場所でしばらく待ってください。	5
バッテリー温度エラー	バッテリーパックの温度が動作温度（印字時）の範囲外になっています。	バッテリーパックの温度が動作温度（印字時）の範囲内になると自動復帰します。周囲の温度が-20～50℃の場所でしばらく待ってください。	6
バッテリーエラー	バッテリーに異常があります。	バッテリーパックを一度取り外し、正しく装着し直してください。各接続端子が汚れている時は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。それでも直らない場合は、バッテリーパックを交換してください。	7
ハードウェアエラー	サーマルヘッドまたは回路基板に異常が発生しています。	復帰は不可能です。修理を依頼してください。	8

\*1：複数のエラーが同時に起こった場合の優先順位を示します。数字が大きいほど優先順位が高くなります。

例えば「出力バッファフル」と「紙無しエラー」が同時に起こった場合、優先順位の高い「紙無しエラー」がLED表示されます。

\*2：「充電温度エラー」「カーチャージャのみ接続」の場合は、POWER LEDにエラーが表示されます。

他のエラーと同時に発生した場合は、POWER LEDとERROR LEDにそれぞれのエラーが表示されます。

\*3：カーチャージャは充電専用です。「16 カーチャージャによる充電」の「プリンタとカーチャージャによる充電」に従って接続を行ってください。

## 8 電源の接続方法

このプリンタへの電源供給は、バッテリーパックまたはACアダプタを使用します。

電源がACアダプタの場合は、プリンタにバッテリーパックが装着されていない状態でも印字ができます。なおACアダプタには、ACケーブルが必要です。

カーチャージャは充電専用です。プリンタにバッテリーパックが装着されていない状態では、カーチャージャを接続しても印字はできません。

カーチャージャの接続方法については、必ず「16 カーチャージャによる充電」を参照してください。

バッテリーパック、ACアダプタ、ACケーブルおよびカーチャージャは、オプション製品です。「20 仕様」「21 オプション製品、消耗品構成」に記載されている指定製品を必ずお買い求めください。プリンタの型名により、使用できるバッテリーパックが異なりますので、詳細を必ず確認してください。

### ■プリンタとバッテリーパックの着脱

#### 注 意

- ◆ バッテリーパックを着脱する時は必ずプリンタの電源を切ってください。
- ◆ 登録コマンドによる登録データの保存中や機能設定コマンドによる設定内容の保存中にバッテリーを外すと、データを消失する場合があります。
- ◆ 長時間使用しない時はプリンタからバッテリーパックを外してください。
- ◆ バッテリーパックの注意事項は「2 安全上の注意」「3 お取り扱い上の注意」を参照してください。

#### バッテリーパックの取り付け方法

バッテリーパックは図 8-1の向きで取り付けます。

バッテリーパックは正しい向きで挿入しないと取り付けられません。

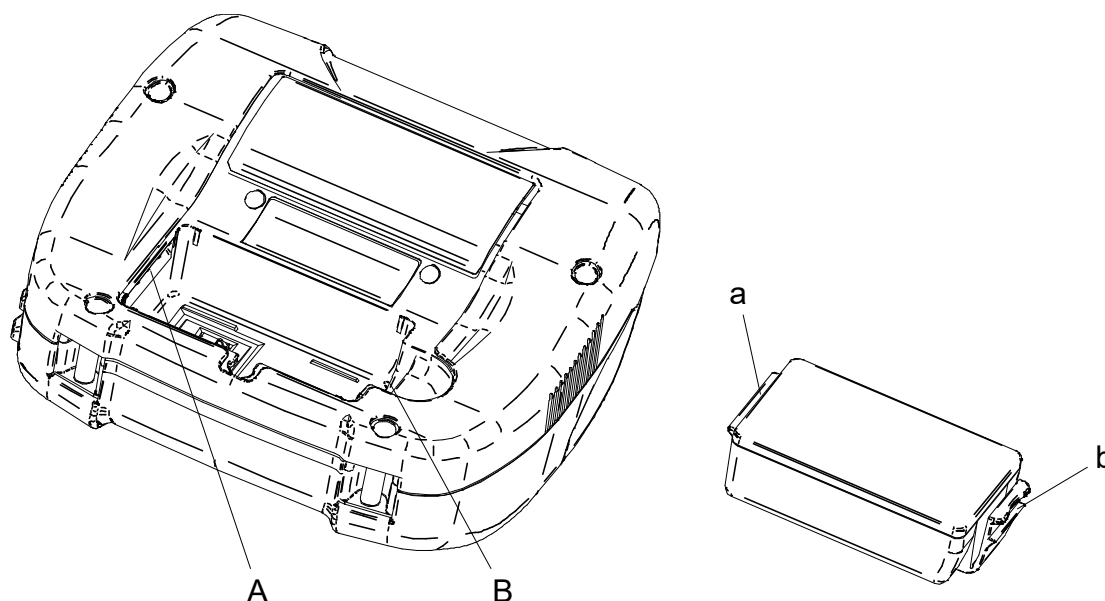


図 8-1 バッテリーパックの取り付け(1)

- ① プリンタの電源が切れていることを確認してください。
- ② バッテリーパックのツメa部を、プリンタの溝A部の下に入れてください。

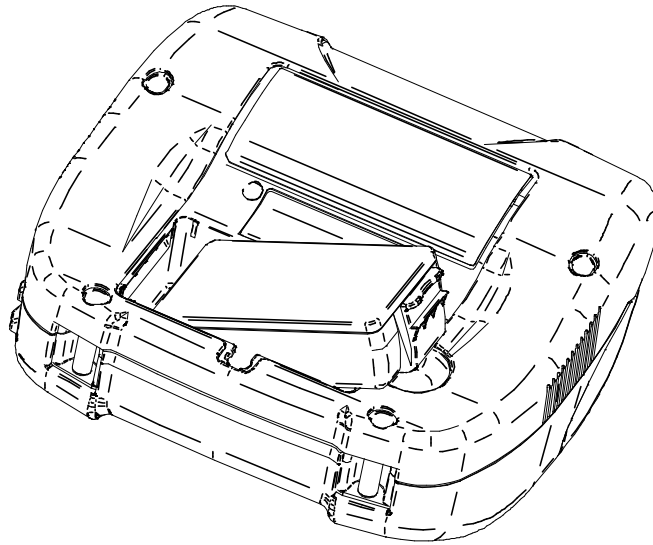


図 8-2 バッテリーパックの取り付け(2)

- ③ 図 8-3の矢印の方向に、バッテリーパックのツメb部がプリンタの溝B部にロックされるまでバッテリーパックを押し込んでください。

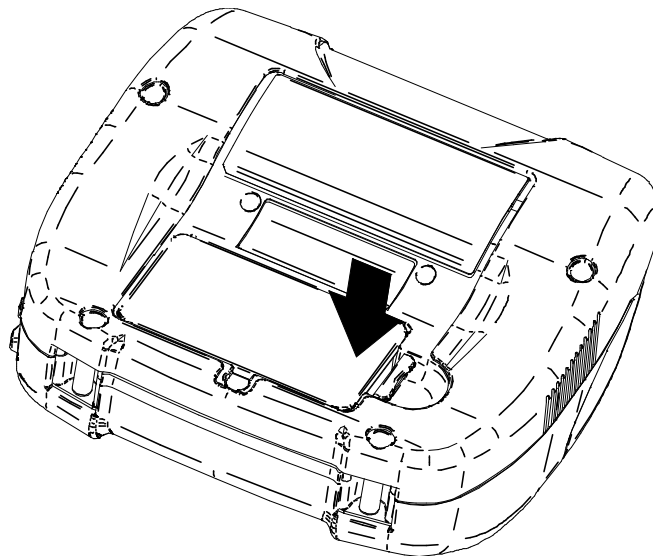


図 8-3 バッテリーパックの取り付け(3)

- ④ バッテリーパックが確実に取り付けられたことを確認してください。
  - バッテリーパックのツメa部がプリンタの溝A部の下にあること
  - バッテリーパックのツメb部がプリンタの溝B部にロックされていること

## バッテリーパックの取り外し方法

- ① プリンタの電源を切ってください。
- ② 図 8-4の矢印1の方向に、バッテリーパックのレバーc部を押しながら、矢印2の方向に引き上げてください。

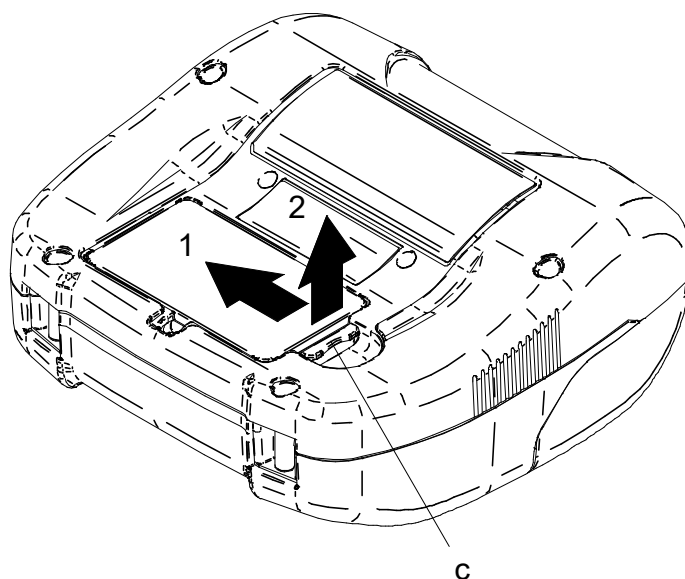


図 8-4 バッテリーパックの取り外し

### ヒント

- バッテリーパックは、使用中若干熱を持つことがありますが異常ではありません。
- バッテリーパックの使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。
- 低温でバッテリーパックを使用している場合、プリンタを使用できる時間が短くなる場合があります。
- バッテリーは使用しなくても経時劣化することがあります。
- オートパワーオフ機能を有効にすると、設定した時間操作されなかった場合、自動的にプリンタの電源が切れ、バッテリーの無駄な消耗を防げます。設定の詳細は「11 機能設定」を参照してください。
- 不要になった二次電池（Li-ion）は廃棄せずに、最寄りのリサイクル協力店にお持ちください。

## ■プリンタとACアダプタの接続

- ① プリンタの電源を切ってください。
- ② ACアダプタにACケーブルを接続してください。
- ③ プリンタの電源コネクタにACアダプタのDCプラグを接続してください。
- ④ ACケーブルのACプラグをコンセントに接続してください。  
ACアダプタのLEDが緑色に点灯します。

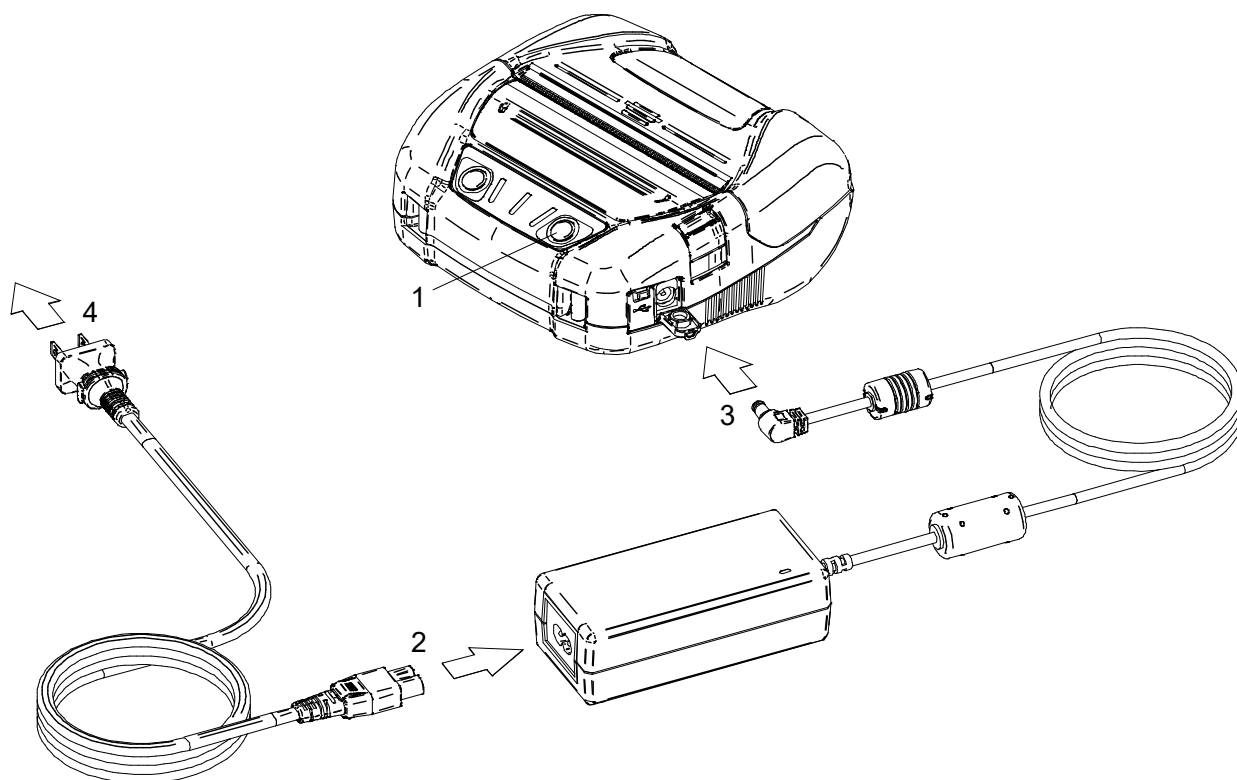


図 8-5 プリンタとACアダプタの接続

### 注意

- ◆ ACアダプタの着脱を行う時は、プリンタの電源を切ってください。
- ◆ 長時間使用しない時はACケーブルをコンセントから抜いてください。

### ヒント

- ACによる電源自動ON選択を有効にしている場合、ACケーブルのACプラグをコンセントに接続すると自動的にプリンタの電源が入ります。設定の詳細は「11 機能設定」を参照してください。
- ACによる電源自動OFF選択を有効にしている場合、ACケーブルのACプラグをコンセントから抜くと、バッテリーバックが装着されていても、自動的にプリンタの電源が切れます。設定の詳細は「11 機能設定」を参照してください。
- ACアダプタは使用中若干熱を持つことがありますが異常ではありません。



## 9 感熱紙のセット方法

プリンタの印字用紙には、感熱ロール紙（以下、感熱紙とします）を使用します。

感熱紙は印字面が外巻きのものを使用してください。

このプリンタでは4種類の紙幅の感熱紙が使用できます。紙幅の設定については、「13 紙幅の設定方法」を参照してください。

また使用する感熱紙によってプリンタの機能設定が異なりますので、詳細は「11 機能設定」を参照してください。

### ■ 感熱紙のセット方法

- ① ペーパーカバーオープンボタンを図 9-1の矢印方向に押し、ペーパーカバーを開けてください。

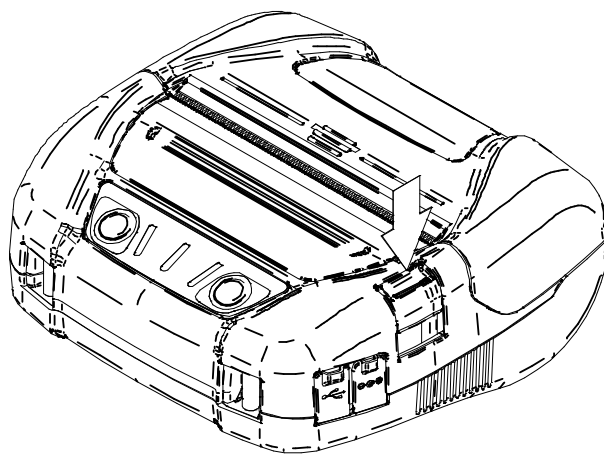


図 9-1 ペーパーカバーオープンボタン

#### — 注 意 —

- ◆ ペーパーカバーオープンボタンは突き当たるまで押してください。  
突き当たるまで押さないとペーパーカバーが開かないことがあります。

- ② 感熱紙の印字面がサーマルヘッド側になるよう感熱紙をペーパーホルダにセットしてください。感熱紙のセット方向が正しくないと印字できません。

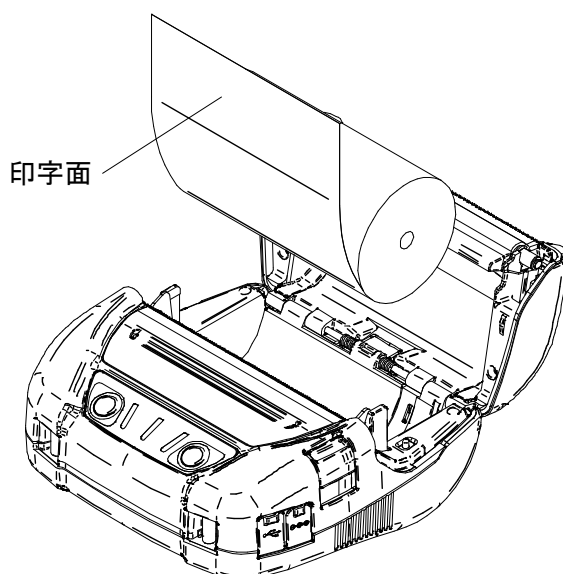


図 9-2 感熱紙セット方向

注 意

- ◆ ペーパーカッターがプリンタ本体側とペーパーカバー側の2ヶ所にあります。感熱紙セット時、ペーパーカッターで手を切らないように注意してください。
- ◆ 印字直後のサーマルヘッドは高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。
- ◆ プラテン及びプリンタのギアには触れないようにしてください。印字品質の低下や、故障の原因になる場合があります。

- ③ 感熱紙先端が紙排出口より5cm以上出るよう感熱紙をまっすぐに引き出してください。感熱紙が斜めにならないようにしてください。

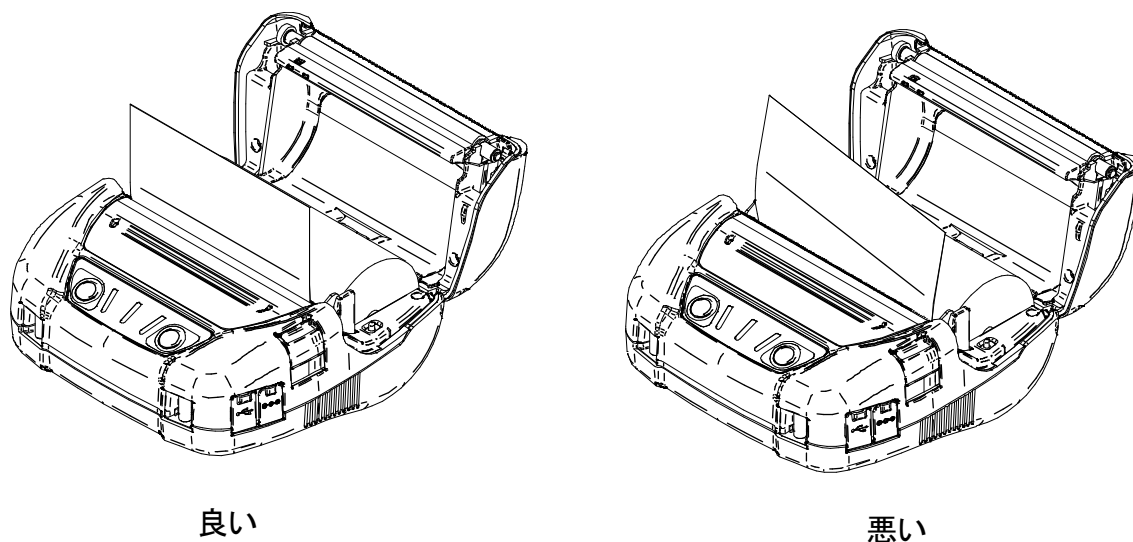


図 9-3 感熱紙セット方向の例

注 意

- ◆ 感熱紙が斜めにセットされると、紙がまっすぐに排出されないことがあります。このような場合、感熱紙を再度セットし直してください。

- ④ ペーパーカバーの中央部（図 9-4の矢印部分）をしっかりと押し、ペーパーカバーを閉めてください。

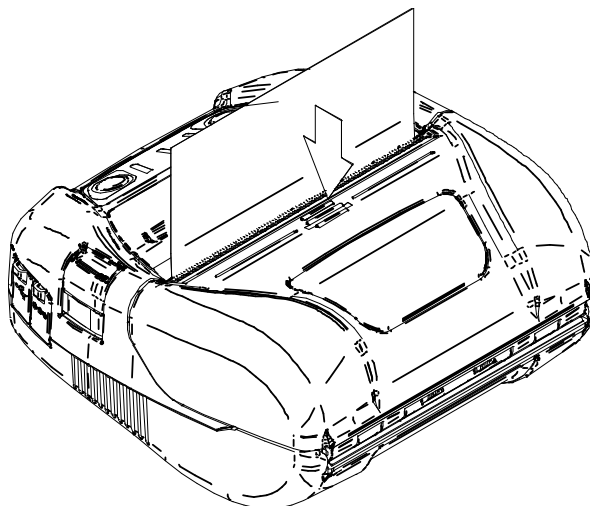


図 9-4 ペーパーカバー

#### 注意

- ◆ 片閉まりの場合、電源を入れると「ペーパーカバーオープンエラー」のLED表示になります。その場合は再度ペーパーカバーを開き、閉め直してください。
- ◆ ペーパーカバーを閉めた時に、感熱紙先端にプリンタの部品との擦れによる発色が起こる場合があります。その場合は数cmフィードを行い、感熱紙先端を切断したうえでご使用ください。

- ⑤ マーク紙を使用する場合、フィードスイッチを1回押して感熱紙の頭出しを行ってください。この場合はマークモードの設定が必要です。  
マークモードの設定方法、マークの位置および仕様は、「MP-A40シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」の「2.1.8 マーク（ペーパー）センサ仕様」を参照してください。

#### 注意

- ◆ 紙排出口を塞いだり、出てきた感熱紙を押さえつけたりしないでください。紙ジャムの原因になります。

#### ヒント

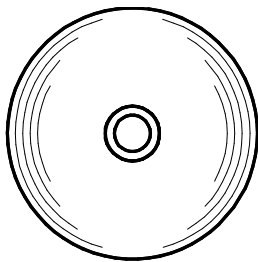
- 感熱紙をプリンタにセットしたままで長時間放置すると、周辺環境の変化を受け、感熱紙の表面がサーマルヘッドに貼り付き、感熱紙を搬送できない場合があります。この場合には、一度ペーパーカバーを開いて、サーマルヘッドから感熱紙を剥がし、再度ペーパーカバーを閉じてからお使いください。

## ■感熱紙の形状

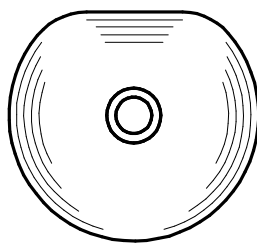
感熱紙は必ず指定感熱紙をお使いください。指定感熱紙については、「21 オプション製品、消耗品構成」を参照してください。

### 注 意

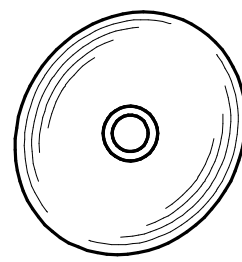
- ◆ 感熱紙の最大外径はφ58mm以下のものを使用してください。
- ◆ 感熱紙の最大幅は巻きズレを含め各紙幅+0.5mm以下のものを使用してください。
- ◆ 感熱紙は終端が糊付けやテープ止めをしていないものを使用してください。
- ◆ 感熱紙の芯の内径はレシート紙φ12mm以上、ラベル紙φ18mm以上のものを使用してください。



良い



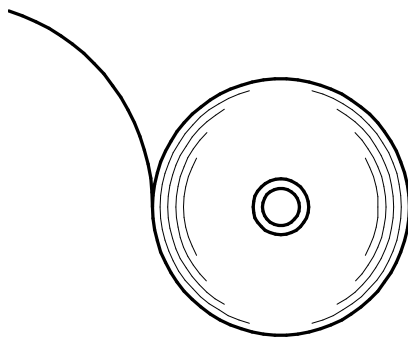
悪い



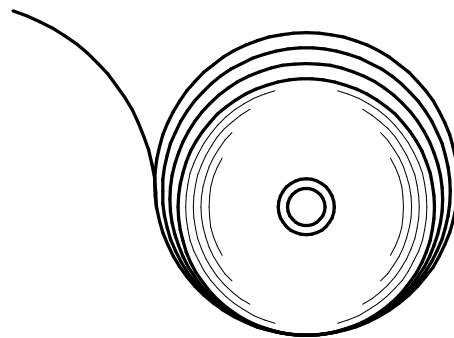
悪い

### 注 意

- ◆ 使用する感熱紙は変形がないものを使用してください。変形したものを使用すると故障の原因となります。



良い



悪い

### 注 意

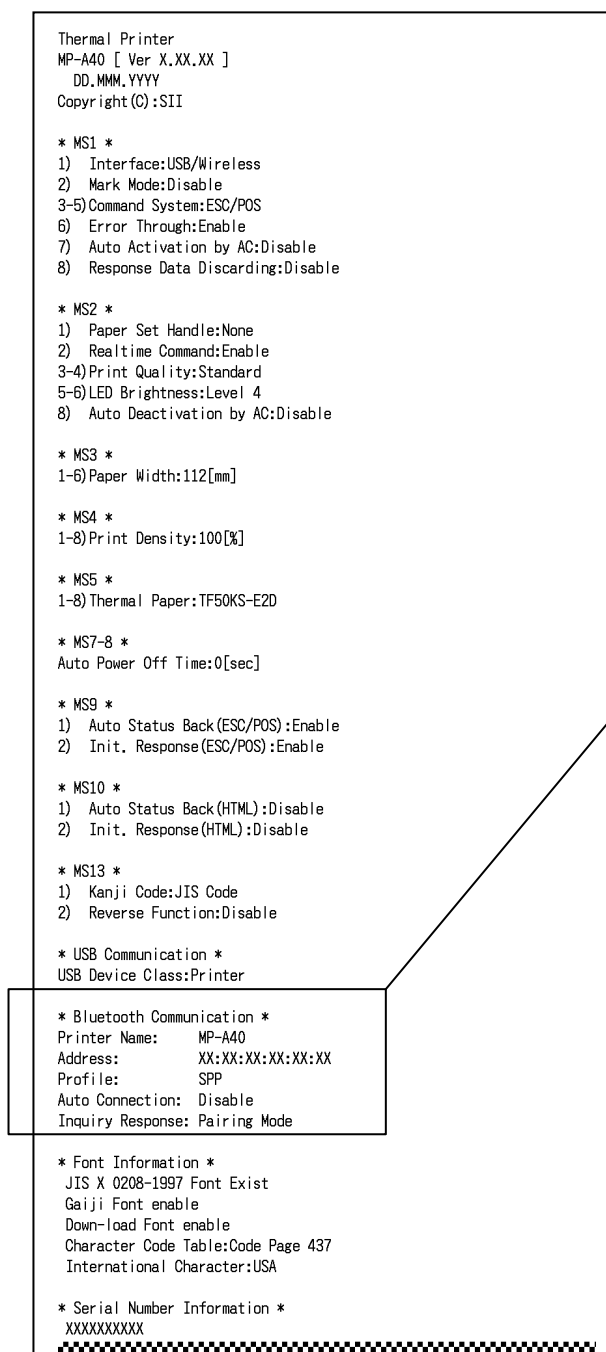
- ◆ 感熱紙をセットする時は、感熱紙にたるみ（解け）が無い状態でセットしてください。

## 10 テスト印字

テスト印字ではファームウェアバージョン、機能設定の設定値などが印字されます。

## ■テスト印字の手順：Bluetooth搭載モデルの場合

- ① 「9 感熱紙のセット方法」に従って感熱紙をセットしてください。  
エラーのない状態を確認してから、プリンタの電源を切ってください。
- ② フィードスイッチを押したまま電源スイッチを押し、電源スイッチから指を離してください。テスト印字が開始されたら、フィードスイッチから指を離してください。



```
* Bluetooth Communication *
Printer Name:      MP-A40
Address:           XX:XX:XX:XX:XX:XX
Profile:           SPP
Auto Connection:   Disable
Inquiry Response:  Pairing Mode
```

図 10-2 Bluetooth情報印字例

表 10-1 Bluetooth通信情報

項目	内容
Printer Name	プリンタ名設定
Address	Bluetoothアドレス
Profile	プロファイル設定
Auto Connection	iOS自動接続設定
Inquiry Response	検索応答設定

図 10-1 テスト印字例 (Bluetooth搭載モデル)

- ③ テスト印字が終了すると、図 10-3のモード選択のメッセージが印字されます。  
印字可能状態に戻す場合は、「0 : Normal Mode」を選択してください。（フィードスイッチを押さずに、電源スイッチを押してください。）  
他のモードを選択する場合には、そのモードの番号の回数だけフィードスイッチを押してから電源スイッチを押してください。

```
[Mode Select]
0 : Normal Mode
1 : Setting Mode
2 : Wireless ON/OFF Mode
3 : Hex Dump Mode
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

図 10-3 モード選択メッセージ（Bluetooth搭載モデル）

## ■テスト印字の手順：無線LAN搭載モデルの場合

- ① 「9 感熱紙のセット方法」に従って感熱紙をセットしてください。  
エラーのない状態を確認してから、プリンタの電源を切ってください。
- ② フィードスイッチを押したまま電源スイッチを押し、電源スイッチから指を離してください。テスト印字が開始されたら、フィードスイッチから指を離してください。

```
Thermal Printer
MP-A40 [ Ver X.XX.XX ]
DD.MMM.YYYY
Copyright (C):SII

* MS1 *
1) Interface:USB/Wireless
2) Mark Mode:Disable
3-5) Command System:ESC/POS
6) Error Through:Enable
7) Auto Activation by AC:Disable
8) Response Data Discarding:Disable

* MS2 *
1) Paper Set Handle:None
2) Realtime Command:Enable
3-4) Print Quality:Standard
5-6) LED Brightness:Level 4
8) Auto Deactivation by AC:Disable

* MS3 *
1-6) Paper Width:112[mm]

* MS4 *
1-8) Print Density:100[%]

* MS5 *
1-8) Thermal Paper:TF50KS-E2D

* MS7-8 *
Auto Power Off Time:0[sec]

* MS9 *
1) Auto Status Back(ESC/POS):Enable
2) Init. Response(ESC/POS):Enable

* MS10 *
1) Auto Status Back(HTML):Disable
2) Init. Response(HTML):Disable

* MS13 *
1) Kanji Code:JIS Code
2) Reverse Function:Disable

* USB Communication *
USB Device Class:Printer

* Font Information *
JIS X 0208-1997 Font Exist
Gaiji Font enable
Download Font enable
Character Code Table:Code Page 437
International Character:USA

* Serial Number Information *
XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
```

図 10-4 テスト印字例（無線LAN搭載モデル）

- ③ テスト印字が終了すると、図 10-5のモード選択のメッセージが印字されます。  
無線LAN情報を印字する場合は、「4 : Print WLAN Information」を選択してください。（フィードスイッチを4回押してから電源スイッチを1回押してください。）  
無線LAN情報の印字準備を開始します。

```
[Mode Select]
0 : Normal Mode
1 : Setting Mode
2 : Wireless ON/OFF Mode
3 : Hex Dump Mode
4 : Print WLAN Information
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

図 10-5 モード選択メッセージ（無線LAN搭載モデル）

- ④ 無線LAN情報の印字が開始するまでには15～30秒程かかります。その間、図 10-6の情報取得中のメッセージが印字されますので、そのままお待ちください。

```
Getting WLAN information. Please wait...
```

図 10-6 無線LAN情報取得中メッセージ



無線LAN情報の取得が完了すると、図 10-7の例のように無線LAN情報を印字します。

* WLAN Communication *	
Mode:	Simple AP
Radio:	802.11b/g/n
Country:	JP
Channel:	Auto
SSID:	SII-Printer
Security:	None
DHCP Server:	Enable
MAC Address:	XX:XX:XX:XX:XX:XX
IP Address:	192.168.0.1
Subnet Mask:	255.255.255.0
Gateway Address:	0.0.0.0
Module Ver.:	01.XX.XX

図 10-7 無線LAN情報印字例

表 10-2 無線LAN通信情報

項目	内容
Mode	無線LANの動作モード設定
Radio	無線LAN規格設定
Country	対応国 US: USA、カナダ JP: 日本 EU: EU、EFTA、英国、トルコ
Channel	使用チャネル設定
SSID	SSID設定
Security	セキュリティ設定
DHCP Server	DHCPサーバ設定 (Simple APモード時)
DHCP Client	DHCPクライアント設定 (Clientモード時)
MAC Address	MACアドレス
IP Address	IPアドレス設定*
Subnet Mask	サブネットマスク設定*
Gateway Address	ゲートウェイアドレス設定*

\*: 無線LANモードがClientモード設定の場合、DHCPサーバから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを印字します。DHCPサーバからの取得待ち中は、「---. ---. ---. ---」のように印字されます。DHCPタイムアウトの場合は、設定値が使用されその値が印字されます。

- ⑤ 無線LAN情報の印字が終了すると、図 10-5のモード選択のメッセージが印字されます。  
印字可能状態に戻す場合は、「0 : Normal Mode」を選択してください。（フィードスイッチを押さずに、電源スイッチを押してください。）  
他のモードを選択する場合には、そのモードの番号の回数だけフィードスイッチを押してから電源スイッチを押してください。

## 11 機能設定

このプリンタは使用する条件や用途に合わせて各種の機能設定を行うことができます。  
設定内容はプリンタに実装されたフラッシュメモリ内のメモリスイッチ（以後、MSとする）に保存されており、スイッチ操作、ソフトウェアまたはコマンド入力などにより設定することができます。  
本書ではスイッチ操作による設定方法について説明します。  
メモリスイッチの設定内容一覧は、「22 メモリスイッチ設定内容一覧」を参照してください。

### 注 意

- ◆ 値（0または1）に「固定」の表示がある場合は、必ず指示通りに設定してください。  
設定しない場合は正しく動作しない可能性や故障する可能性があります。

### ヒント

- メッセージが印字されてから30秒以内にどちらのスイッチも押されなかった場合は、機能設定モードを終了し、印字可能状態に戻ります。
- メモリスイッチはソフトウェアからも設定できます。裏表紙に記載されているダウンロードページからソフトウェアをダウンロードしてください。  
設定できるソフトウェアは以下です。
  - ・ Windowsの場合：  
プリンタドライバのプロパティから起動できる「ツール」の「メモリスイッチ」
  - ・ iOS及びAndroidの場合：  
App StoreまたはGoogle Playで提供するアプリ「SII MP-A Utility」

## ■ スイッチ操作による機能設定の手順

スイッチ操作による機能設定は、プリンタを機能設定モードにして行います。  
機能設定モードに入る場合には、以下の手順を行ってください。

- ① 「9 感熱紙のセット方法」に従って感熱紙をセットしてください。  
エラーのない状態を確認してから、プリンタの電源を切ってください。  
エラー状態については「7 プリンタのLED表示」を参照してください。
- ② フィードスイッチを押したまま電源スイッチを押し、電源スイッチから指を離してください。テスト印字が開始されたらフィードスイッチから指を離してください。
- ③ テスト印字が終了後、図 11-1のモード選択のメッセージが印字されます。  
機能設定モードに入る場合は「1 : Setting Mode」を選択してください。（フィードスイッチを1回押した後、電源スイッチを押してください。）

```
[Mode Select]
0 : Normal Mode
1 : Setting Mode
2 : Wireless ON/OFF Mode
3 : Hex Dump Mode
4 : Print WLAN Information
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

- ・ 「4 : Print WLAN Information」は、無線LAN搭載モデルのみ印字されます。
- ・ フィードスイッチを1回押した場合、「1 : Setting Mode」が選択されます。
- ・ フィードスイッチを押さずに電源スイッチを押した場合、「0 : Normal Mode」が選択されます。

図 11-1 モード選択メッセージ

- ④ 機能設定モードに入ると、図 11-2の設定するMSを選択するためのメッセージが印字されます。選択するMSの番号の回数だけフィードスイッチを押してから電源スイッチを押してください。

```
[MS Selection]
0 : Exit
1 : MS1
2 : MS2
3 : MS3
4 : MS4
5 : MS5
6 : MS7,8
7 : MS9
8 : MS10
9 : MS13
10: I/F Setting
11: USB Setting
12: International Character
13: Character Code Table
14: Default Setting
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

- ・フィードスイッチを1回押した場合、「1 : MS1」が選択されます。
- ・フィードスイッチを押さずに電源スイッチを押した場合、「0 : Exit」が選択されます。
- ・「10: I/F Setting」は、Bluetooth搭載モデルのみ印字されます。Bluetooth通信の設定をする場合は、これを選択してください。

図 11-2 MS選択メッセージ

- ⑤ 次に図 11-3の例のように、MSに割り当てられている機能を選択するためのメッセージが印字されます。選択する機能の番号の回数だけフィードスイッチを押してから電源スイッチを押してください。

```
[Function selection of MS1]
0 : Return to MS selection
1 : Interface
2 : Mark Mode
3 : Command System
4 : Error Through
5 : Auto Activation by AC
6 : Response Data Discarding
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

- ・フィードスイッチを3回押した場合、「3 : Command System」が選択されます。
- ・フィードスイッチを押さずに電源スイッチを押した場合、「0 : Return to MS selection」が選択されます。

図 11-3 機能選択メッセージ  
(例 : MS1を選択した場合)

- ⑥ 次に図 11-4の例のように、機能の設定値を選択するためのメッセージが印字されます。  
選択する設定値の番号の回数だけフィードスイッチを押してから、電源スイッチを押してください。

```
[Command System]
0 : Return to function selection
1 : ESC/POS
2 : HTML
3 : CPCL
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

・ フィードスイッチを1回押した場合、「1 : ESC/POS」が選択されます。

図 11-4 設定値選択メッセージ  
(例 : Command Systemを選択した場合)

- ⑦ 次に図 11-5の例のように、選択した設定値を確認するためのメッセージが印字されます。

```
[Command System]
Set ESC/POS
Save setting : Feed SW
Discard setting : Power SW
```

図 11-5 設定値確認メッセージ  
(例 : ESC/POSを選択した場合)

設定値をメモリに保存する場合は、フィードスイッチを押してください。図 11-2が印字されます。

選択した内容を破棄する場合は、電源スイッチを押してください。図 11-3の例のように、機能選択メッセージが印字されます。ここで「0 : Return to MS selection」を選択すると、機能選択は行われず、図 11-2が印字されます。（フィードスイッチを押さずに、電源スイッチを押してください。）

続けて機能設定する場合は、④から操作してください。

- ⑧ 機能設定モードを終了する場合は、図 11-2において「0 : Exit」を選択してください。（フィードスイッチを押さずに、電源スイッチを押してください。）  
再びテスト印字と図 11-1が印字されますので、機能設定が正しく反映されていることをご確認ください。

印字可能状態に戻す場合は、モード選択メッセージにおいて「0 : Normal Mode」を選択してください。（フィードスイッチを押さずに、電源スイッチを押してください。）

再度機能設定する場合は、③から操作してください。

## 12 ホスト装置と接続する

このプリンタはUSB通信とBluetooth通信または無線LAN通信を使用できます。

Bluetooth通信と無線LAN通信は、機種により選択されることになります。

ご使用になる通信方式の機種をお買い求めください。

- Bluetooth搭載モデル (MP-A40-Bxxxxxx) : Bluetooth通信 + USB通信
- 無線LAN搭載モデル (MP-A40-Wxxxxxx) : 無線LAN通信 + USB通信

使用する通信方式によってプリンタの機能設定が異なりますので、詳細は「MP-A40シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

USB通信を行う場合は、オプション製品のUSBインタフェースケーブルが必要です。インタフェース仕様の詳細は「20 仕様」を参照してください。

通信速度はソフトウェアの処理や印字内容によって、遅くなる場合があります。

このプリンタは電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備を内蔵しており、その無線設備は技術基準適合証明を受けています。したがって、プリンタを使用するときに、無線局の免許は必要ありません。

ただし以下の行為は法律により罰せられますので、行わないでください。

- プリンタに内蔵している無線設備を分解、改造する。
- プリンタに内蔵している無線設備に印刷された証明記号、番号の改竄（かいざん）をする。

電波を出力することが禁止されている場所では、無線の出力を無効にする必要があります。

無線オン・無線オフの切り替えをする場合は、電源オンの状態で、電源スイッチを3秒以内に3回繰り返し押ししてください。無線オンになっているときはWIRELESS LEDが点灯あるいは点滅します。無線オフになっているときは、WIRELESS LEDが消灯します。

## ■USB通信

- ① プリンタの電源が切れていることを確認してください。
- ② プリンタの**USB**インタフェースコネクタに、**USB**インタフェースケーブルを接続してください。
- ③ プリンタの電源を入れて、ホスト装置からプリンタにデータを送信してください。
- ④ データが正しく印字されていることを確認してください。

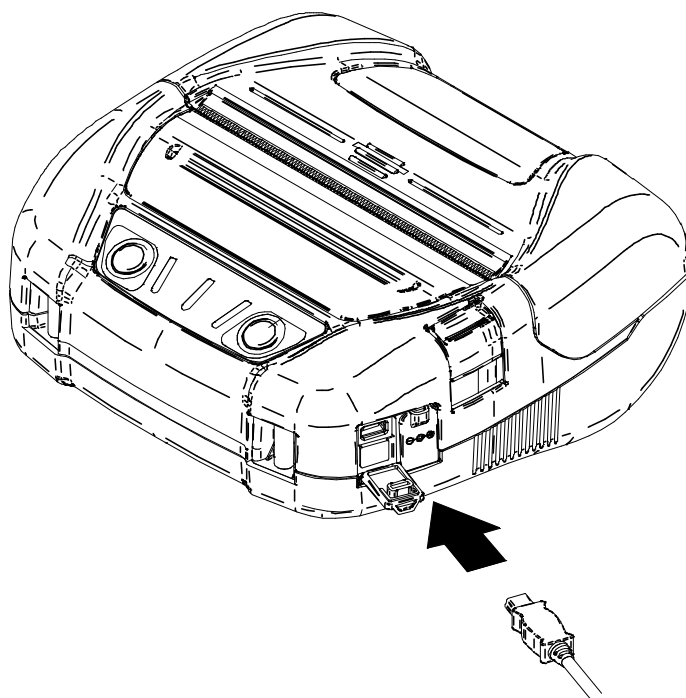


図 12-1 USB通信用インタフェースケーブル

### — 注 意 —

- ◆ USBインタフェースコネクタにUSBインタフェースケーブルを接続する際には、最後までプラグを押し込んでください。
- ◆ インタフェースケーブルの抜き差しは必ずコネクタを持って行ってください。絶対にケーブルを引っ張らないでください。

## ■Bluetooth通信

- ① USBインタフェースケーブルがプリンタに接続されている場合は、外してください。
- ② プリンタの電源を入れて、ホスト装置とのペアリングを行ってください。  
工場出荷状態では電源スイッチを7秒以上押し続けるとプリンタは約60秒間のペアリングモードになります。ペアリングモードになるとWIRELESS LEDが1秒間に2回の点滅になります。この間にホスト装置とのペアリングを行ってください。  
ペアリングはSSP(Simple Secure Pairing)で行われますが、ホスト装置がSSPに対応していない場合はPINコードを使用します。PINコードの工場出荷時の値は"0000"です。
- ③ ホスト装置とのBluetooth接続を行ってください。  
Bluetooth接続が確立すると、WIRELESS LEDが点灯します。
- ④ ホスト装置にて交信状態を確認してください。
- ⑤ ホスト装置からデータを送信し、正しく印字されることを確認してください。



### 警告

- ◆ 医療用機器や電子機器に影響を及ぼす場合があります。各機器メーカーあるいは販売元に電波による影響についてご確認ください。
- ◆ 医療機関内で使用する場合は、その指示に従ってください。
- ◆ その他、使用が禁止されている地域や区域では使用しないでください。

### ヒント

- 通信距離は約10mです。ただし、周辺の電波状態や障害物などにより異なる場合があります。
- iPhoneやiPadなどからBluetooth接続する場合は、SPP・iAP2切り替えを「iAP2」に設定する必要があります。Android端末やPCなどから接続する場合は「SPP」に設定します。
- 工場出荷時の設定は「SPP」です。
- SPP・iAP2の切り替え方法は、電源オンの状態で、電源スイッチを3秒以内に5回繰り返し押ししてください。



## ■無線LAN通信

- ① USBインタフェースケーブルがプリンタに接続されている場合は、外してください。
- ② プリンタの電源を入れて、ホスト装置との無線で接続を行ってください。  
工場出荷状態では下記の設定になっています。  
モード : Simple AP(簡易アクセスポイント)  
規格 : 802.11b/g/n(2.4GHz帯)  
SSID : SII-Printer  
セキュリティ : なし  
DHCPサーバ : 有効  
プリンタのIPアドレス: 192.168.0.1
- ③ Webブラウザから「<http://192.168.0.1>」のページを表示してください。  
プリンタの設定画面が表示されますので、必要な設定を行ってください。  
再起動後より入力した設定が有効になります。
- ④ ホスト装置にて交信状態を確認してください。
- ⑤ ホスト装置からデータを送信し、正しく印字されることを確認してください。



### 警告

- ◆ 医療用機器や電子機器に影響を及ぼす場合があります。各機器メーカーあるいは販売元に電波による影響についてご確認ください。
- ◆ 医療機関内で使用する場合は、その指示に従ってください。
- ◆ その他、使用が禁止されている地域や区域では使用しないでください。

## 13 紙幅の設定方法

プリンタに付属のパーテーションプレートとパーテーションプレート アタッチメントを取り付けることで、紙幅105mm、100mm、80mmの感熱紙の使用が可能です。

パーテーションプレート アタッチメント（以下、アタッチメントとします）は2種類あります。

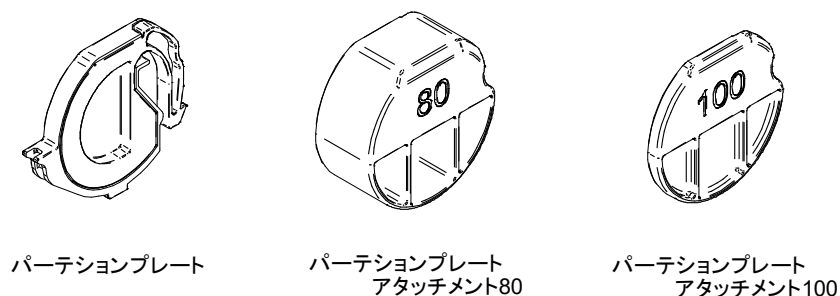


図 13-1 パーテーションプレート、アタッチメント

使用する感熱紙の紙幅に応じて、パーテーションプレートと各アタッチメントを表 13-1の組み合わせで取り付けてください。

各紙幅でのパーテーションプレートとアタッチメントの取り付け位置は、図 13-1を参照してください。

表 13-1 パーテーションプレート組み合わせリスト

	感熱紙幅			
	112 mm	105 mm	100 mm	80 mm
パーテーションプレート	－	✓	✓	✓
パーテーションプレート アタッチメント100	－	－	✓	－
パーテーションプレート アタッチメント80	－	－	－	✓
パーテーションプレート取り付け位置(図 13-2)	－	p1	p2	p3

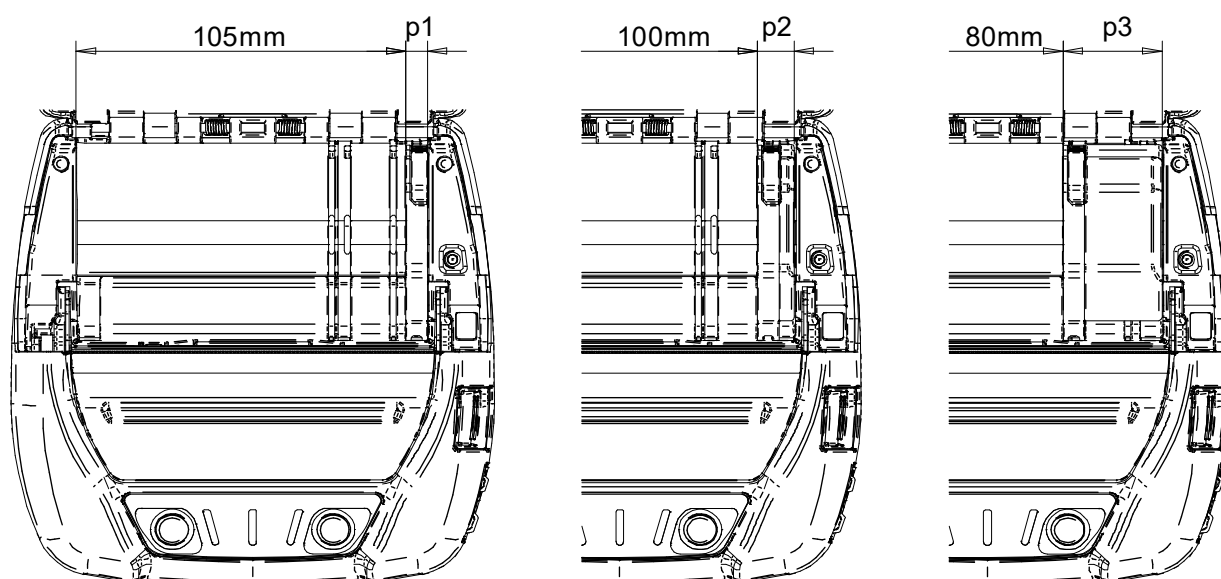


図 13-2 パーテーションプレート位置

## ■パーテーションプレートの取り付け

ここでは紙幅80mmの場合の、パーテーションプレートとアタッチメントの取り付け方法について説明します。

- ① プリンタの電源を切ってください。
- ② バッテリパックを外してください。ACアダプタが接続されている場合は、ACアダプタのACプラグをコンセントから抜いてください。
- ③ ペーパーカバーオープンボタンを押してペーパーカバーを開けてください。
- ④ 図 13-3のように、パーテーションプレートのD部にアタッチメント80のd部を組み合わせてください。

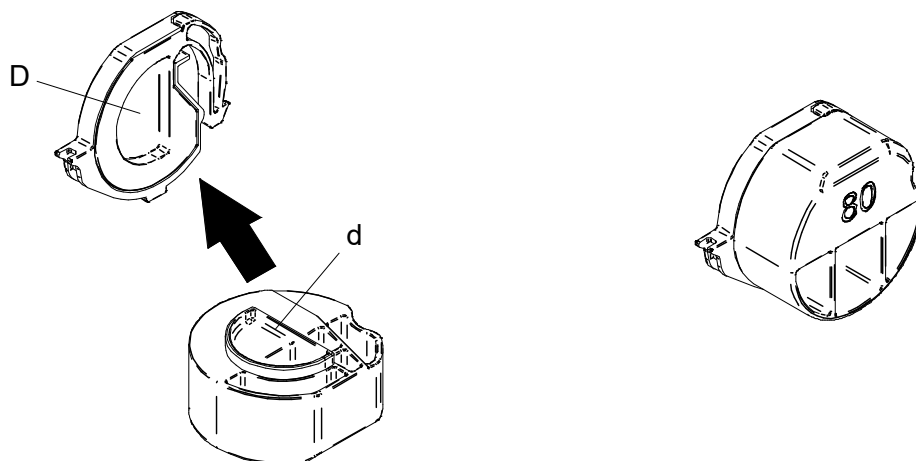


図 13-3 アタッチメント取り付け

- ⑤ パーテーションプレートのツメ部分e、f、gを以下の1～3の手順でプリンタの溝部分E、F、Gに固定してください。  
プリンタには紙幅毎に同じ溝があります。

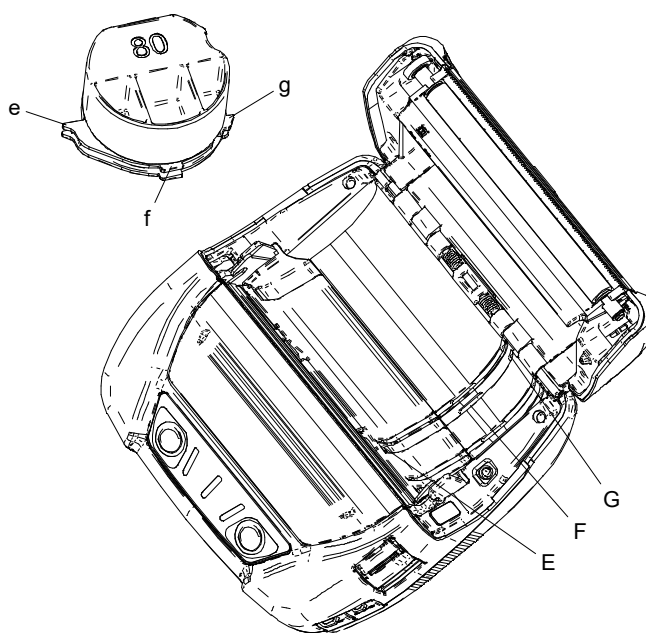


図 13-4 パーテーションプレート取り付け(1)

1. 図 13-5のように、パーテーションプレートのツメe部をプリンタの溝E部に合わせてください。

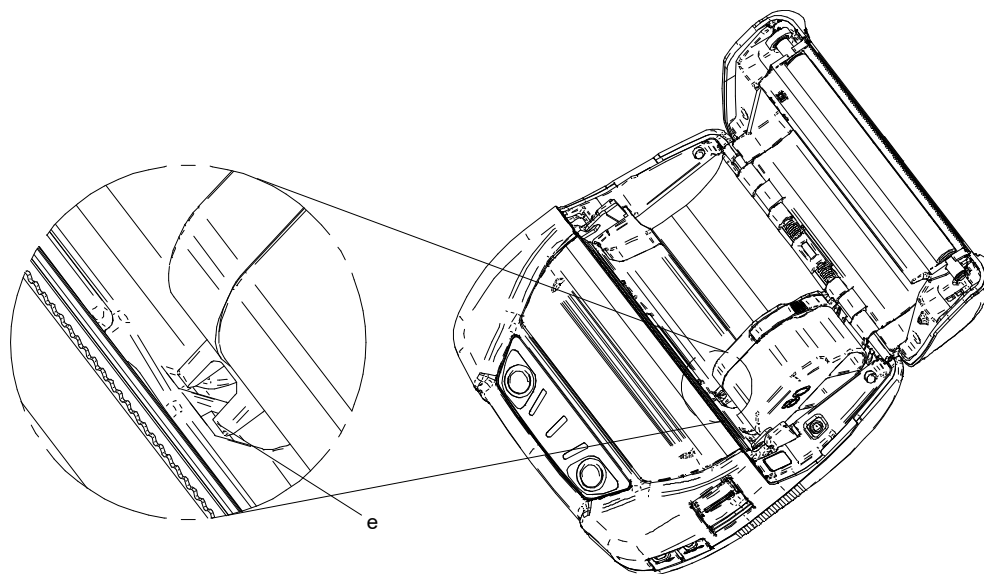


図 13-5 パーテーションプレート取り付け(2)

2. パーテーションプレートのツメe部を支点に時計方向に回転させ、ツメf部を溝Fにセットしてください。
3. 図 13-6のように、パーテーションプレートのツメg部がプリンタの溝G部にロックされるまでパーテーションプレートを押し込んでください。

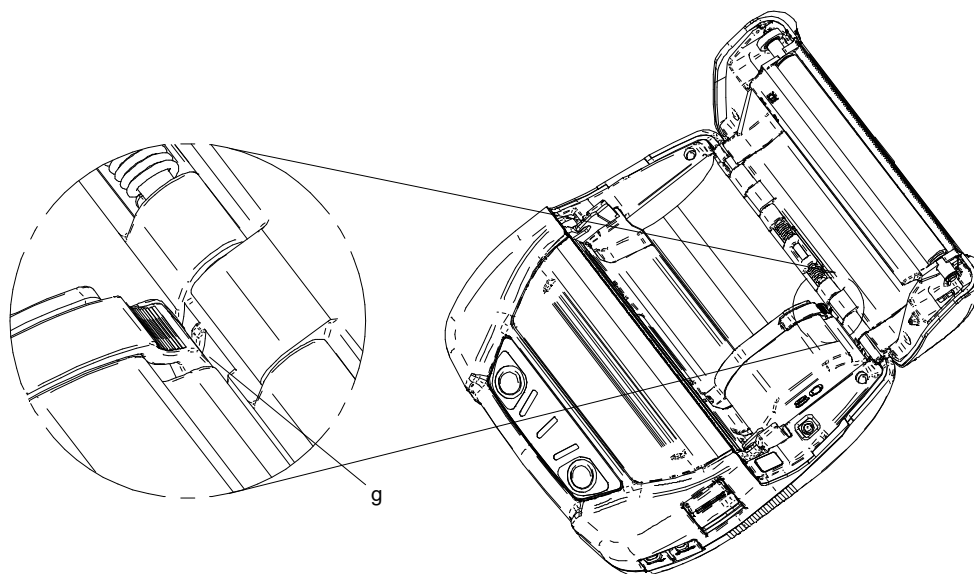


図 13-6 パーテーションプレート取り付け(3)

- ⑥ パーテーションプレートが確実に取り付けられたことを確認してください。
  - ツメe部が溝E部に固定されていること
  - ツメf部が溝F部に固定されていること
  - ツメg部が溝G部に固定されていること
- ⑦ パーテーションプレートで紙幅を設定した場合は、機能設定の基本設定3 (MS3) にて紙幅の設定を行ってください。

機能設定の詳細については、「MP-A40シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」の「4.2 MS機能詳細」を参照してください。

## ■パーテーションプレートの取り外し

パーテーションプレートを取り外す場合は、以下の手順で行ってください。

- ① 下図の矢印方向に、パーテーションプレートのh部を押しながら、上に引き上げてください。

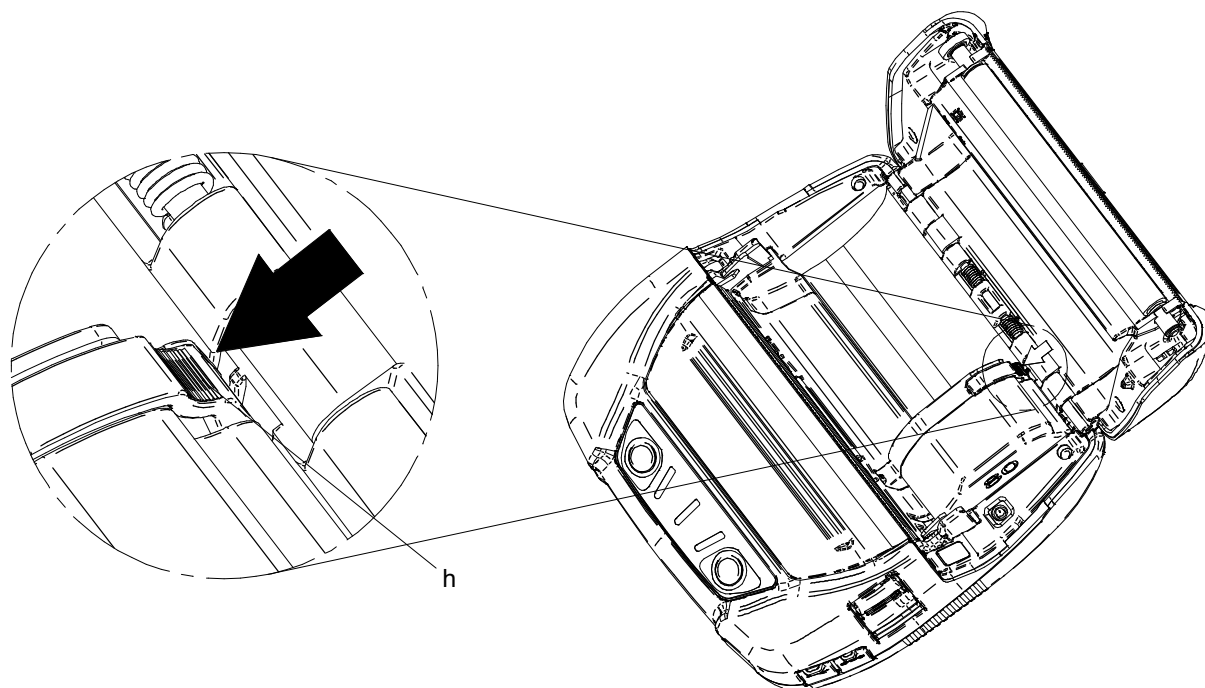


図 13-7 パーテーションプレート取り外し

### 注 意

- ◆ ペーパーカッターがプリンタ本体側とペーパーカバー側の2ヶ所にあります。パーテーションプレートの取り付け、取り外しの際は、ペーパーカッターで手を切らないように注意してください。
- ◆ 紙幅の設定は初めてプリンタをご使用される前に行ってください。プリンタのご使用を始められた後は、紙幅を切り替えないでください。故障する恐れがあります。
- ◆ パーテーションプレートを使用し、112mmよりも紙幅の小さい感熱紙を使用すると、プラテンがサーマルヘッドに接触するため、プラテンのゴムカスが出る場合があります。印字品質を保つため、定期的にゴムカスを除去してください。

## 14 ベルトクリップ／ショルダストラップの取り付け

このプリンタにはプリンタを携帯するのに便利なベルトクリップとショルダストラップが取り付けられます。

ベルトクリップはプリンタに同梱されています。

ショルダストラップはオプション製品です。「21 オプション製品、消耗品構成」に記載されている指定製品を必ずお買い求めください。

### ■ベルトクリップの取り付け方法

- ① プリンタの電源を切ってください。
- ② バッテリパックを外してください。  
ACアダプタが接続されている場合は、ACアダプタのACプラグをコンセントから抜いてください。
- ③ ベルトクリップのj部をプリンタのJ部に、図 14-1の向きで取り付けてください。  
ベルトクリップは正しい向きでなければ取り付けられません。

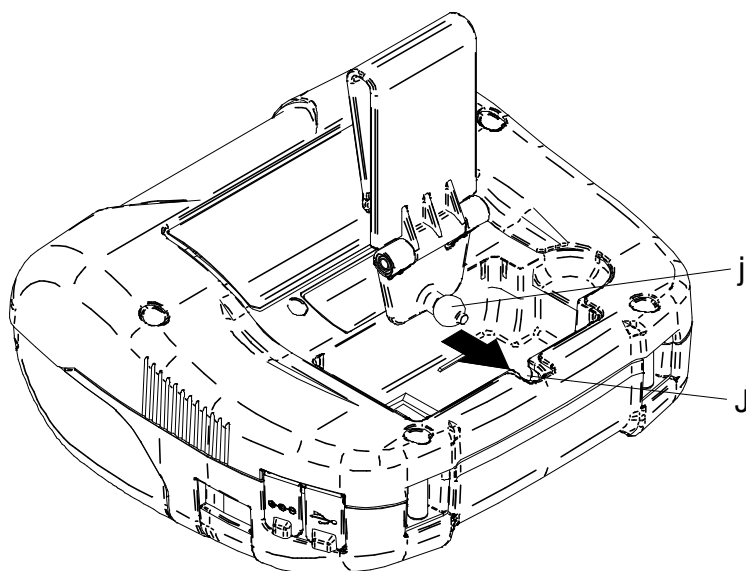


図 14-1 ベルトクリップの取り付け(1)

- ④ ベルトクリップを90° 回転させてください。

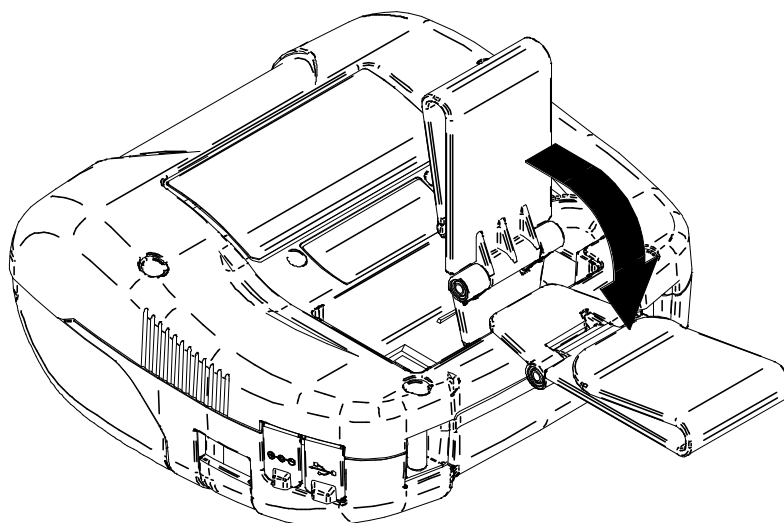


図 14-2 ベルトクリップの取り付け(2)

- ⑤ バッテリーパックをセットしてください。  
⑥ 図 14-3のk部をベルトに引っ掛けて使用してください。

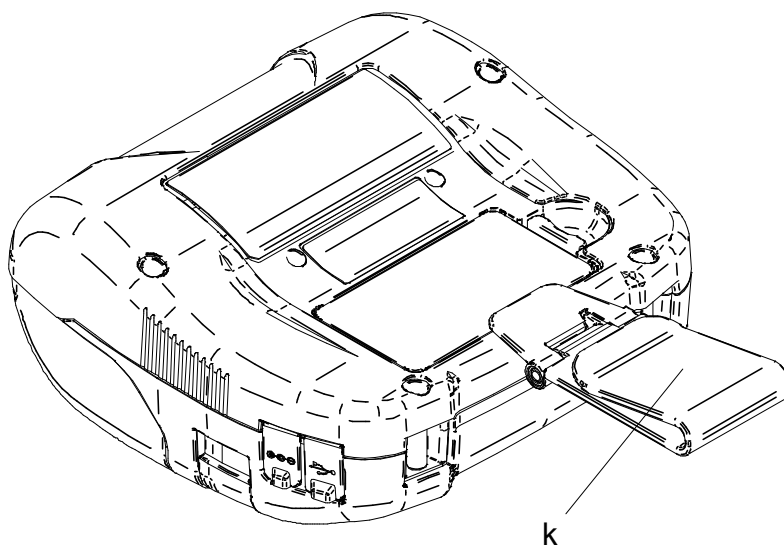


図 14-3 ベルトクリップの取り付け(3)

#### 注 意

- ◆ ベルトクリップを使用する際は、必ずバッテリーパックをプリンタに装着してください。バッテリーパックが装着されていないとベルトクリップが簡単に外れるため、プリンタが落下し、ケガや故障の原因となります。
- ◆ ベルトクリップを使用する場合、バッテリーパックが直接皮膚に当たらないようにしてください。長時間接触状態が続くと低温やけどを起こす場合があります。

## ■ショルダストラップの取り付け方法

- ① 図 14-4のように、ショルダストラップの先端をプリンタのショルダストラップ取り付け部に通してください。  
アジャスタ部分のショルダストラップは緩めておいてください。

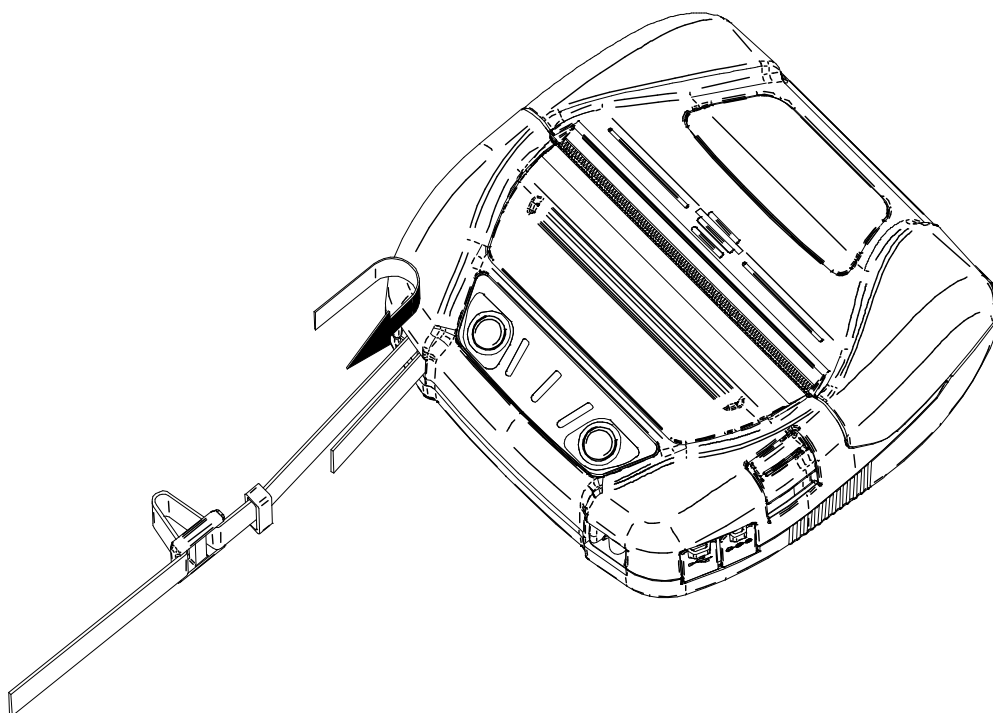


図 14-4 ショルダストラップの取り付け(1)

- ② 図 14-5のように、折り返したショルダストラップの先端をリングに通してください。

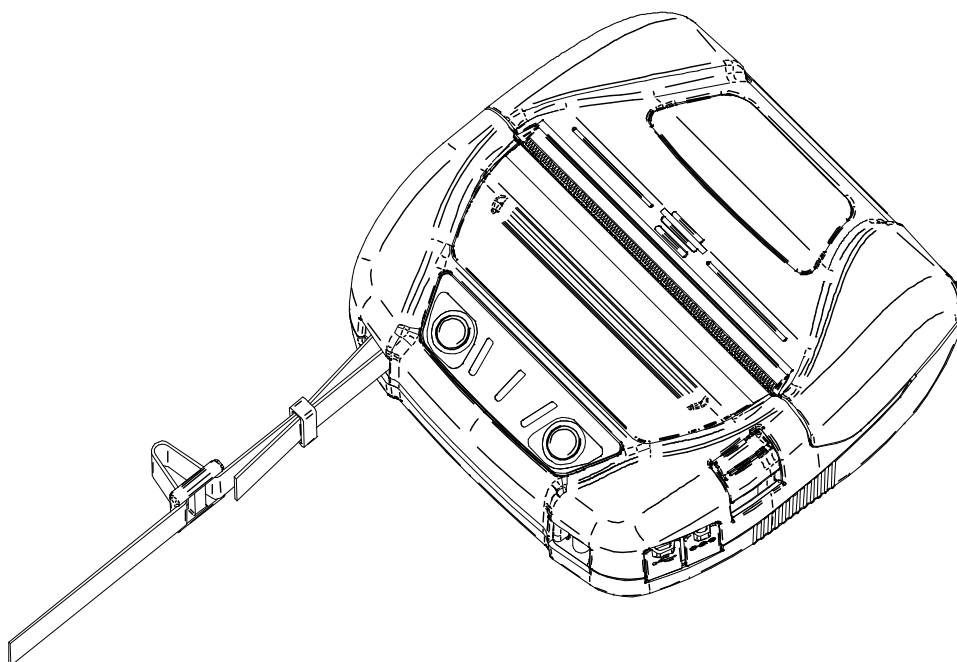


図 14-5 ショルダストラップの取り付け(2)



- ③ 図 14-6のように、ショルダストラップの先端をプリンタから遠い方のアジャスタの穴に通してください。

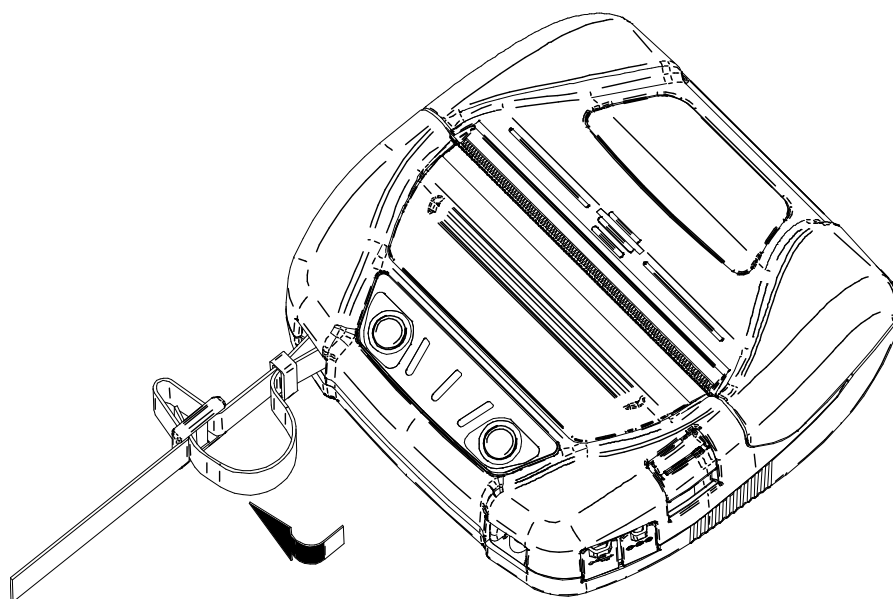


図 14-6 ショルダストラップの取り付け(3)

- ④ 図 14-7のように、ショルダストラップの先端をプリンタから近い方のアジャスタの穴に通してください。  
更にショルダストラップの先端を、再度リングに通してください。

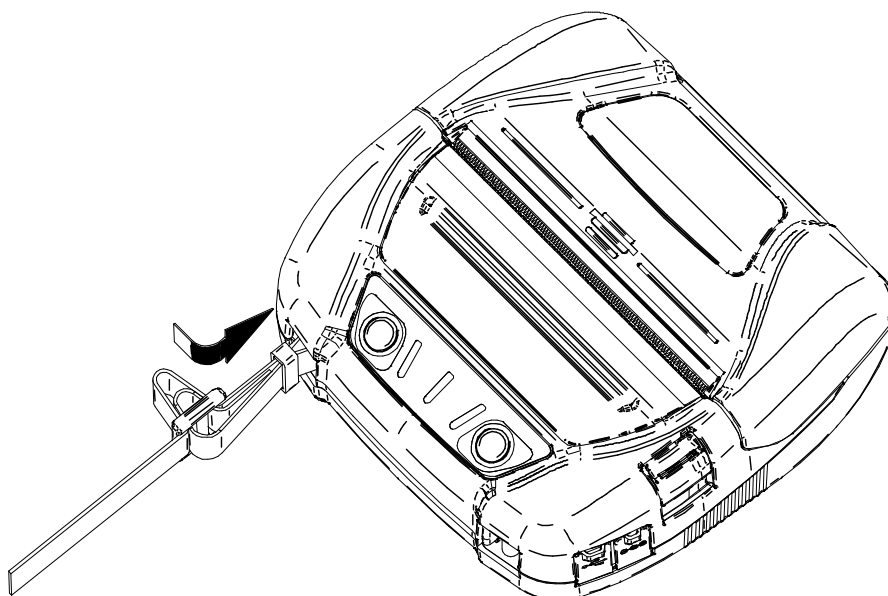


図 14-7 ショルダストラップの取り付け(4)

- ⑤ 図 14-8のように、もう一方のショルダストラップの先端も①～④の手順でプリンタに取り付けてください。
- アジャスタ部分の緩みを取り、ショルダストラップの長さを調整してください。

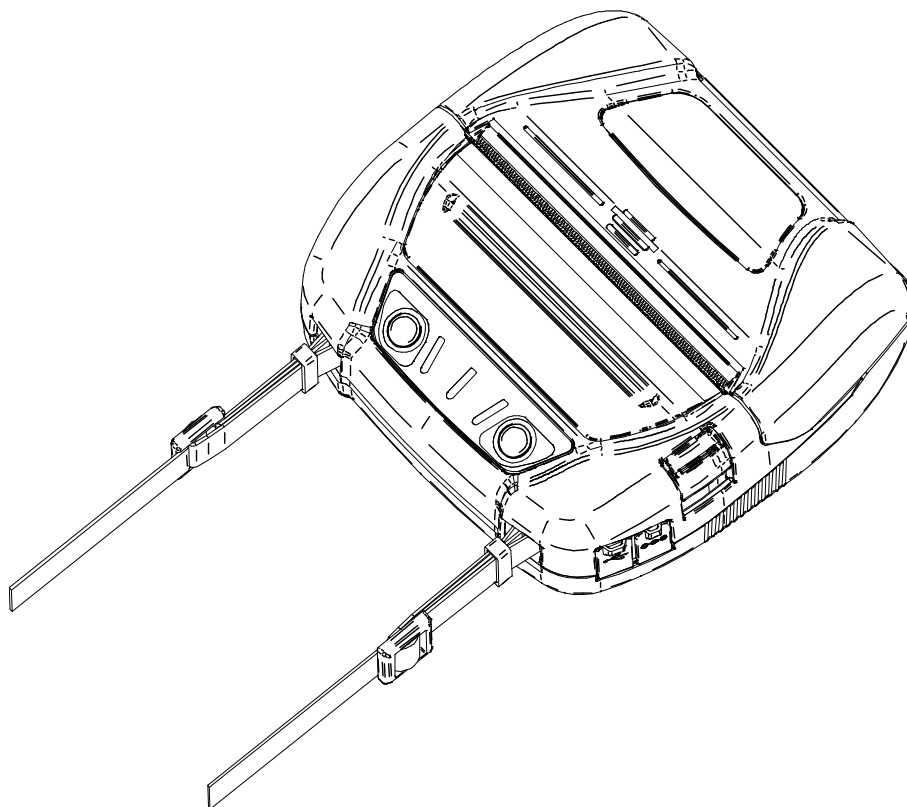


図 14-8 ショルダストラップの取り付け(5)

#### 注 意

- ◆ ショルダストラップを使用する際は、ショルダストラップをプリンタにしっかり装着してください。プリンタが落下し、ケガや故障の原因となります。
- ◆ ショルダストラップを使用する場合、バッテリーパックが直接皮膚に当たらないようにしてください。長時間接触状態が続くと低温やけどを起こす場合があります。

## 15 バッテリーパックの充電

バッテリーパックの充電はプリンタまたは充電器で行います。

### プリンタで充電を行う場合

1. ACアダプタを用いてAC電源から充電できます。
2. カーチャージャを用いて車のアクセサリソケットから充電できます。

### 充電器で充電を行う場合

3. ACアダプタを用いてAC電源から充電できます。

本章ではACアダプタを用いてAC電源からプリンタで充電を行う方法について説明します。

なおACアダプタには、ACケーブルが必要です。

カーチャージャによる充電方法については、必ず「16 カーチャージャによる充電」を参照してください。

充電器による充電方法については、必ず「17 充電器による充電」を参照してください。

バッテリーパックは若干充電された状態で出荷されます。プリンタの動作確認などにお使いください。長時間の使用には充電し直してからお使いください。

バッテリーパックは充電の前に使い切ったり放電したりする必要はありません。

バッテリーパック、ACアダプタ、ACケーブルはオプション製品です。「20 仕様」「21 オプション製品、消耗品構成」に記載されている指定製品を必ずお買い求めください。

#### 注 意

- ◆ 充電中はバッテリーパックを外さないでください。
- ◆ バッテリーパックの充電は、周囲の温度が0℃～40℃で行ってください。

## ■ プリンタとACアダプタによる充電

プリンタでACアダプタを用いてバッテリーパックを充電する場合は、2つの充電方式があります。

- 通常充電方式： バッテリーパックの残量にかかわらず充電を開始します。
- ロングライフ充電方式： 電池残量が十分にある状態で頻繁に充放電を繰り返すと、バッテリーパックの劣化が早まります。  
これを防止するため、バッテリーパックの残量がバッテリーレベル2以下になったときに充電を開始します。

バッテリーパックの残量状態およびエラー状態については、「7 プリンタのLED表示」を参照してください。

充電方式の選択は、手順の違いにより選択ができます。

## 通常充電方式

バッテリーパックが装着された状態で、ACアダプタを接続します。

- ① プリンタの電源が切れていることを確認してください。
- ② プリンタにバッテリーパックを装着してください。
- ③ ACアダプタにACケーブルを接続してください。
- ④ プリンタの電源コネクタにACアダプタのDCプラグを接続してください。
- ⑤ ACケーブルのACプラグをコンセントに接続してください。
- ⑥ 電源が自動で入ります。

POWER LEDがバッテリーパックの残量を約3秒間表示後、橙色点灯に変わり、充電を開始します。  
充電している間はPOWER LEDは橙色で点灯しています。

- ⑦ 満充電まで正常に終了すると、電源は自動で切れます。  
充電中にバッテリーエラーが発生した場合は、ERROR LEDにエラー状態を表示します。  
この場合、電源は自動で切れません。

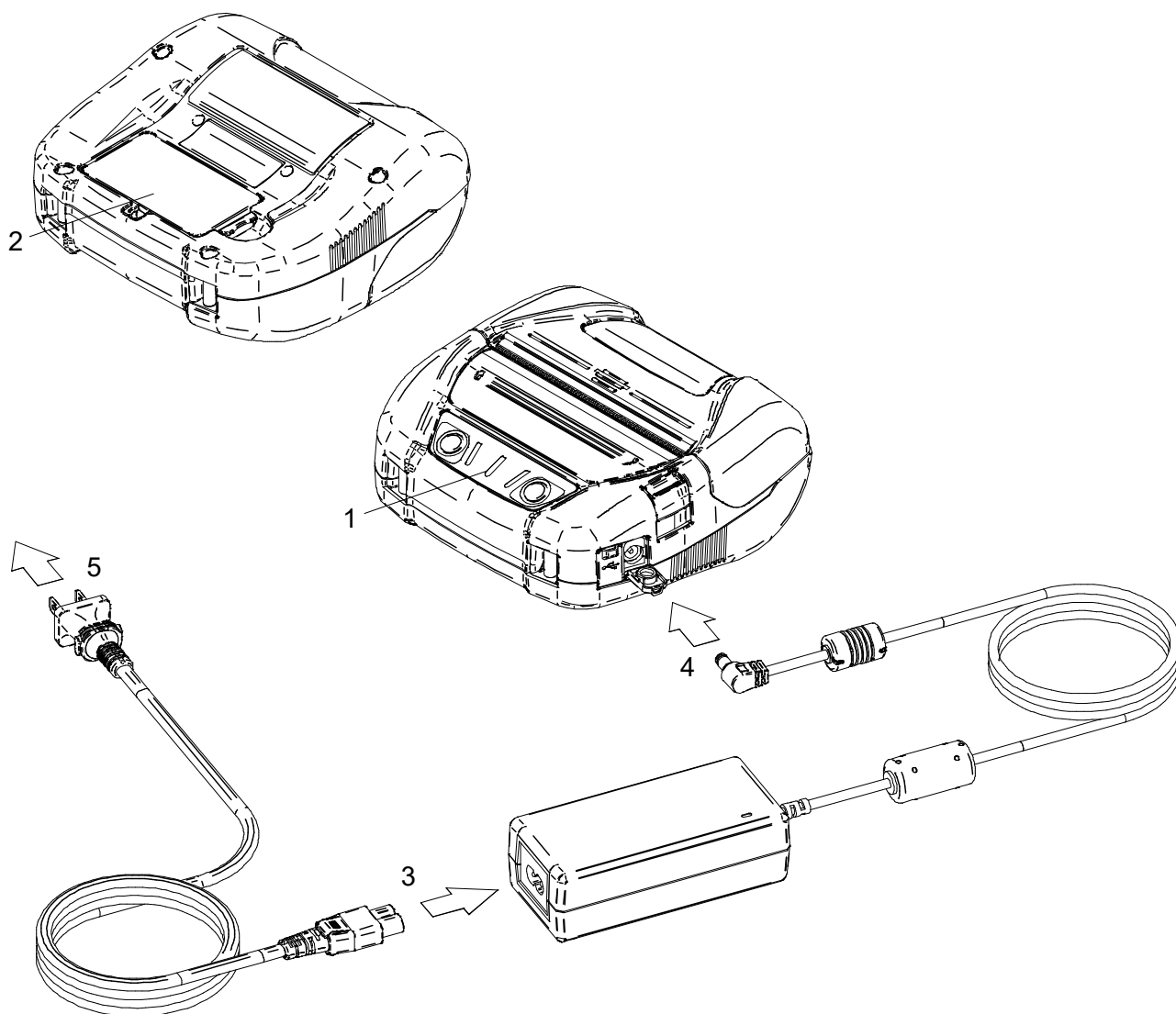


図 15-1 ACアダプタによる通常充電方式

## ロングライフ充電方式

ACアダプタが接続された状態で、バッテリーパックを装着します。  
バッテリーパックはプリンタから外しておいてください。

- ① プリンタの電源が切れていることを確認してください。
- ② ACアダプタにACケーブルを接続してください。
- ③ プリンタの電源コネクタにACアダプタのDCプラグを接続してください。
- ④ ACケーブルのACプラグをコンセントに接続してください。
- ⑤ プリンタにバッテリーパックを装着してください。
- ⑥ 電源スイッチをオンにしてください。

POWER LEDがバッテリーパックの残量を約3秒間表示します。

バッテリーパックの残量がバッテリーレベル2以下の場合は、橙色点灯に変わり充電を開始します。

バッテリーパックの残量がバッテリーレベル1の場合は、POWER LEDはバッテリーパックの残量表示のままとなり充電を開始しません。

充電している間はPOWER LEDは橙色で点灯しています。

- ⑦ 満充電まで正常に終了すると、POWER LEDは緑色点灯に変わります。

電源は自動で切れません。

充電中にバッテリーエラーが発生した場合は、ERROR LEDにエラー状態を表示します。

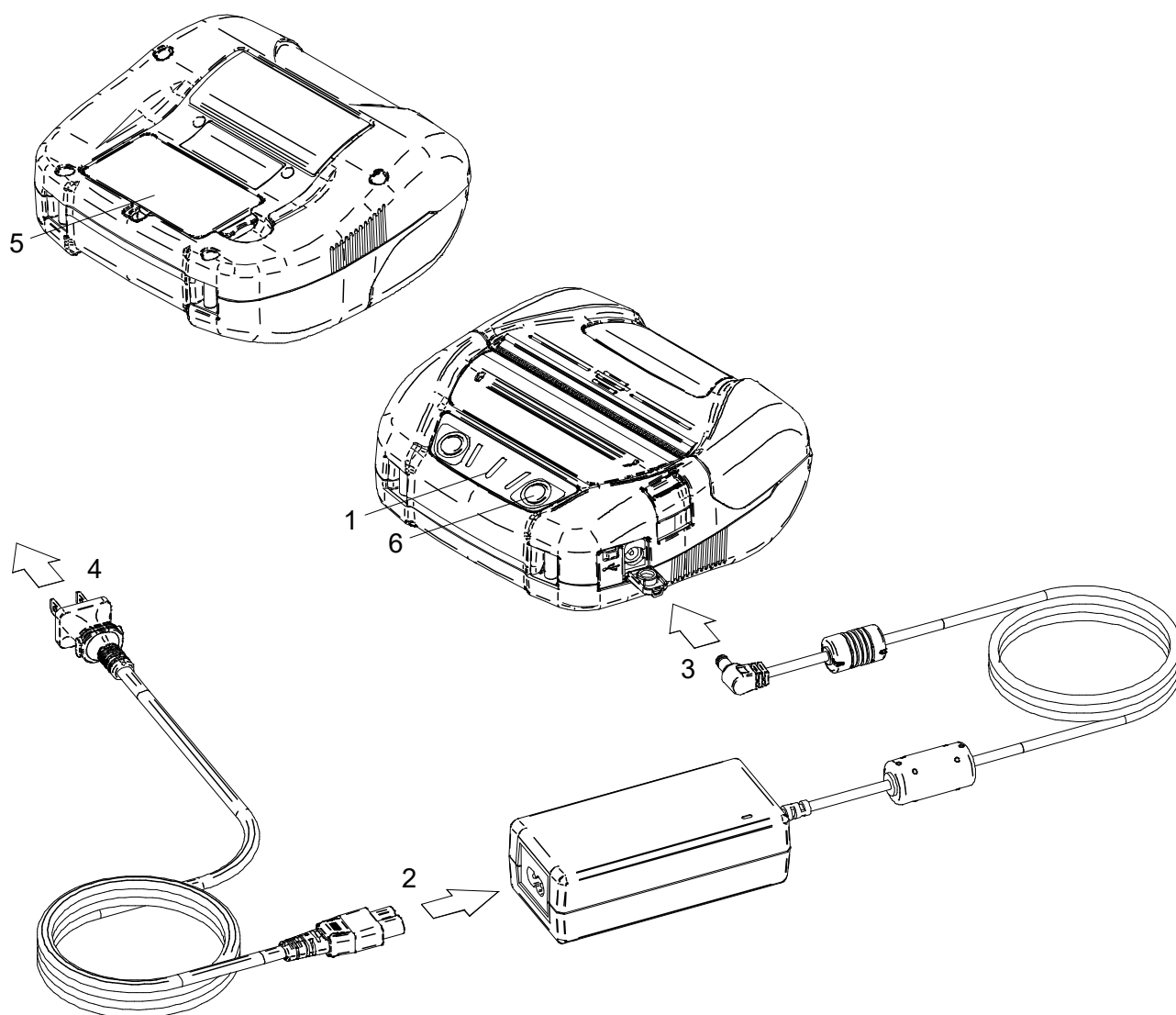


図 15-2 ACアダプタによるロングライフ充電方式

## ヒント

- プリンタとACアダプタによる充電を行なっている間も、印字やデータ受信ができます。印字中はPOWER LEDはバッテリー残量の表示となり、充電を休止します。印字が完了すると充電を再開し、POWER LEDは橙色の点灯に変わります。通常充電方式で充電中に印字やデータ受信を行った場合、充電を終了しても電源は自動で切れません。
- 充電を途中で中止したい時は、電源スイッチを押して電源を切ってください。充電を再開する時は、再度電源スイッチを押してください。ロングライフ充電方式の場合、充電再開時にバッテリーパックの残量がバッテリーレベル1に回復していれば、それ以上の充電は継続されませんのでご注意ください。
- 通常充電中に上記の手順で充電を再開すると、ロングライフ充電方式に切り替わりますので、充電を終了しても電源は自動で切れません。通常充電方式で充電を再開したい場合は、プリンタの電源を切った後、ACアダプタのACプラグをコンセントから一度抜き、再度接続してください。
- 充電時間は周囲の温度やバッテリーパックの状態により変わります。バッテリーを使い切った状態から充電完了までの時間は、約4時間かかります。
- AC アダプタは使用中若干熱を持つことがありますが異常ではありません。

## 16 カーチャージャによる充電

カーチャージャを用いて車のアクセサリソケットとプリンタを接続することで、バッテリーパックの充電ができます。

カーチャージャは充電専用です。プリンタにバッテリーパックが装着されていない状態では、カーチャージャを接続しても印字はできません。

カーチャージャによるバッテリーパックの充電は、車のエンジンが掛かっている時またはアクセサリ状態の時に行えます。アクセサリ状態で使用する場合は、車のバッテリーの残量が十分に残っていることを確認の上使用してください。

バッテリーパックおよびカーチャージャはオプション製品です。「20 仕様」「21 オプション製品、消耗品構成」に記載されている指定製品を必ずお買い求めください。

### 注 意

- ◆ 充電中はバッテリーパックを外さないでください。
- ◆ カーチャージャには充電器を接続しないでください。
- ◆ バッテリーパックの充電は、周囲の温度が0℃～40℃で行ってください。
- ◆ 充電後は必ずシガープラグを車のアクセサリソケットから抜いてください。
- ◆ 運転中は印字しないでください。排出された感熱紙が運転の妨げになることがあります。

## ■カーチャージャの各部の名称

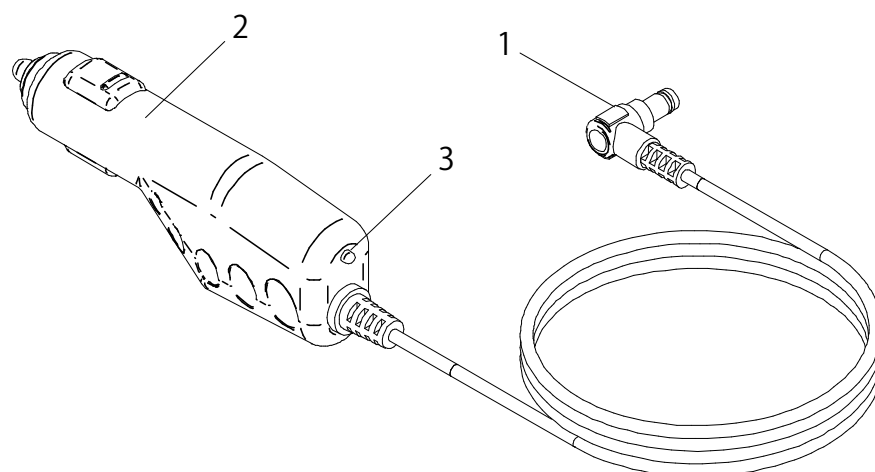


図 16-1 各部の名称 (CC-A12-A1)

### 1 DCプラグ

プリンタの電源コネクタに接続します。

### 2 シガープラグ

車のアクセサリソケットに接続します。

### 3 LED

通電状態を示します。

車のエンジンが掛かっている場合またはアクセサリ状態の時に緑点灯します。

## ■プリンタとカーチャージャによる充電

プリンタでカーチャージャを用いてバッテリーパックを充電する場合は、2つの充電方式があります。

- 通常充電方式： バッテリーパックの残量にかかわらず充電を開始します。
- ロングライフ充電方式： 電池残量が十分にある状態で頻繁に充放電を繰り返すと、バッテリーパックの劣化が早まります。  
これを防止するため、バッテリーパックの残量がバッテリーレベル2以下になったときに充電を開始します。

バッテリーパックの残量状態およびエラー状態については、「7 プリンタのLED表示」を参照してください。

充電方式の選択は、手順の違いにより選択ができます。



## 通常充電方式

バッテリーパックが装着された状態で、カーチャージャを接続します。  
車のエンジンが掛かっているか、アクセサリ状態であることを確認してください。

- ① プリンタの電源が切れていることを確認してください。
- ② プリンタにバッテリーパックを装着してください。
- ③ プリンタの電源コネクタにカーチャージャのDCプラグを接続してください。
- ④ カーチャージャのシガープラグを車のアクセサリソケットに接続してください。
- ⑤ 電源が自動で入ります。

**POWER LED**がバッテリーパックの残量を約3秒間表示後、橙色点灯に変わり、充電を開始します。  
充電している間は**POWER LED**は橙色で点灯しています。

- ⑥ 満充電まで正常に終了すると、電源は自動で切れます。  
充電中にバッテリーエラーが発生した場合は、**ERROR LED**にエラー状態を表示します。  
この場合、電源は自動で切れません。

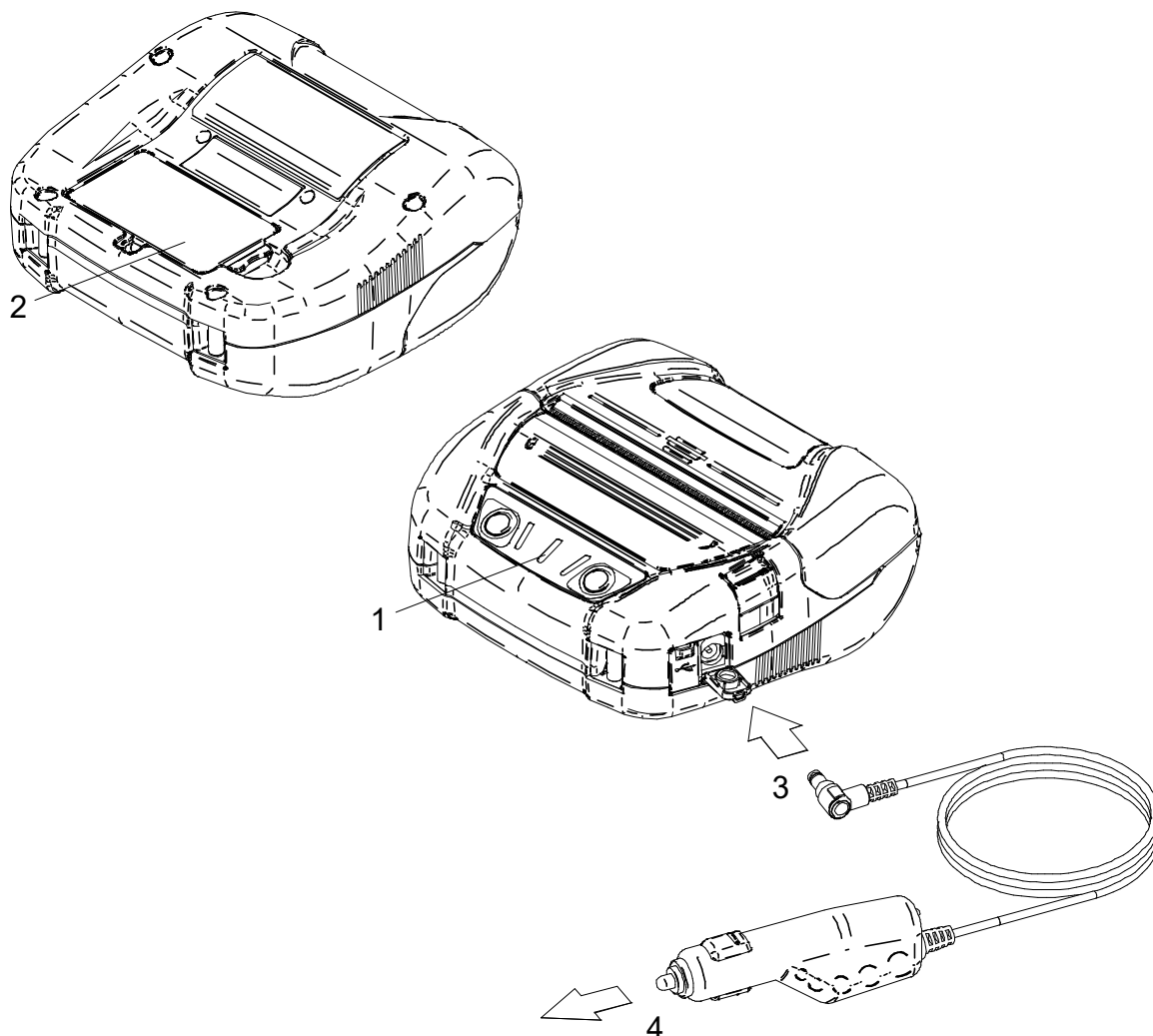


図 16-2 カーチャージャによる通常充電方式

## ロングライフ充電方式

カーチャージャが接続された状態で、バッテリーパックを装着します。

バッテリーパックはプリンタから外しておいてください。

車のエンジンが掛かっているか、アクセサリ状態であることを確認してください。

- ① プリンタの電源が切れていることを確認してください。
- ② プリンタの電源コネクタにカーチャージャのDCプラグを接続してください。
- ③ カーチャージャのシガープラグを車のアクセサリソケットに接続してください。
- ④ プリンタにバッテリーパックを装着してください。
- ⑤ 電源スイッチをオンにしてください。

**POWER LED**がバッテリーパックの残量を約3秒間表示します。

バッテリーパックの残量がバッテリーレベル2以下の場合は、橙色点灯に変わり充電を開始します。

バッテリーパックの残量がバッテリーレベル1の場合は、**POWER LED**はバッテリーパックの残量表示のままとなり充電を開始しません。

充電している間は**POWER LED**は橙色で点灯しています。

- ⑥ 満充電まで正常に終了すると、**POWER LED**は緑色点灯に変わります。

電源は自動で切れません。

充電中にバッテリーエラーが発生した場合は、**ERROR LED**にエラー状態を表示します。

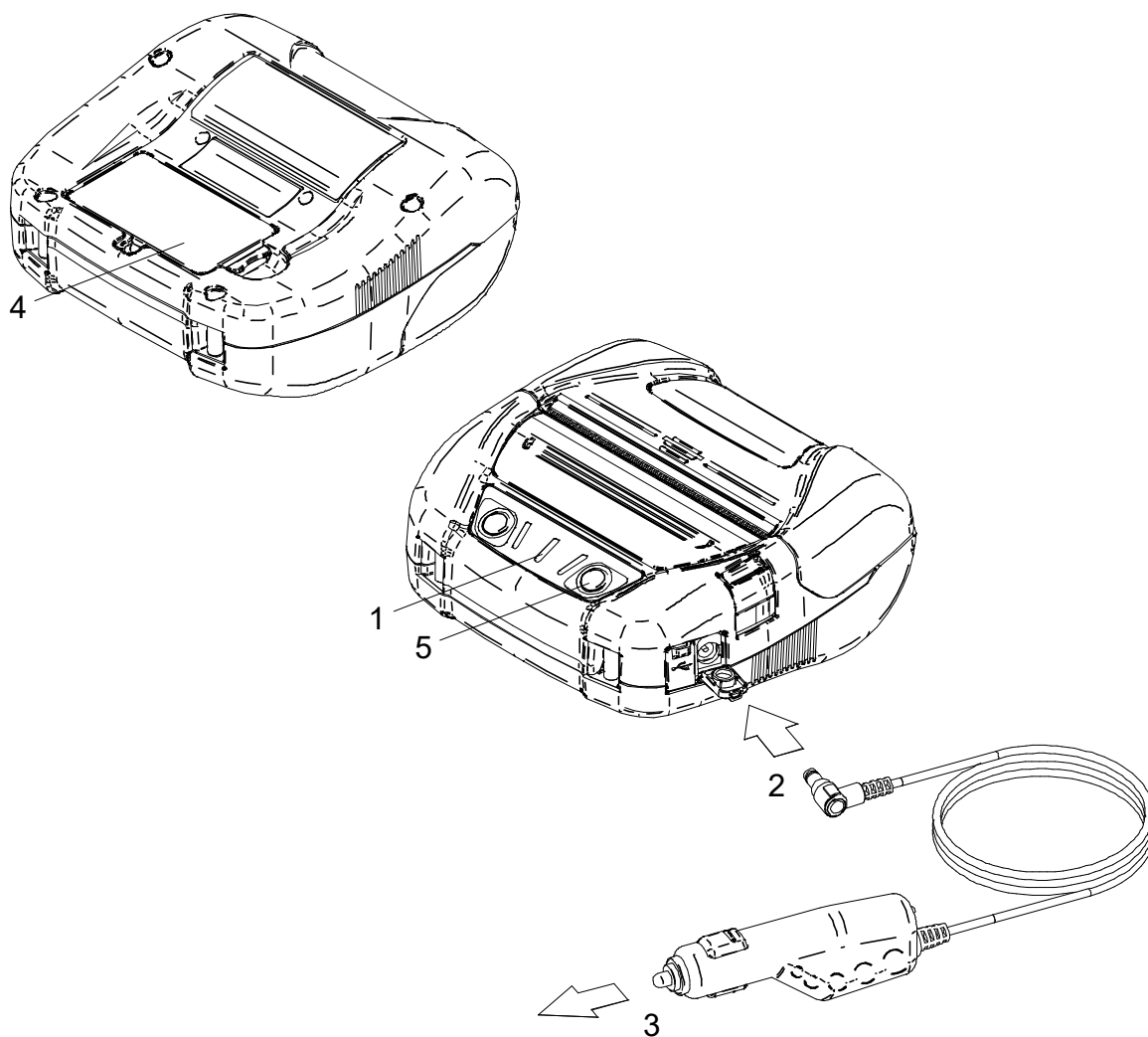


図 16-3 カーチャージャによるロングライフ充電方式

## ヒント

- プリンタとカーチャージャによる充電を行なっている間も、印字やデータ受信ができません。ただしプリンタを動作させるための電源はバッテリーから供給されます。  
印字中はPOWER LEDはバッテリー残量の表示となり、充電を休止します。  
印字が完了すると充電を再開し、POWER LEDは橙色の点灯に変わります。  
通常充電方式で充電中に印字やデータ受信を行った場合、充電を終了しても電源は自動で切れません。
- 充電を途中で中止したい時は、電源スイッチを押して電源を切ってください。  
充電を再開する時は、再度電源スイッチを押してください。  
ロングライフ充電方式の場合、充電再開時にバッテリーパックの残量がバッテリーレベル1に回復していれば、それ以上の充電は継続されませんのでご注意ください。
- 通常充電中に上記の手順で充電を再開すると、ロングライフ充電方式に切り替わりますので、充電を終了しても電源は自動で切れません。通常充電方式で充電を再開したい場合は、プリンタの電源を切った後、シガープラグを車のアクセサリソケットから一度抜き、再度接続してください。
- 充電時間は周囲の温度やバッテリーパックの状態により変わります。バッテリーを使い切った状態から充電完了までの時間は、約4時間かかります。
- カーチャージャは使用中若干熱を持つことがありますますが異常ではありません。

## 17 充電器による充電

充電器を用いてバッテリーパックの充電ができます。

充電器を使用するためには、ACアダプタとACケーブルが必要です。

バッテリーパック、ACアダプタ、ACケーブルおよび充電器は、オプション製品です。「20 仕様」「21 オプション製品、消耗品構成」に記載されている指定製品を必ずお買い求めください。

指定充電器にはバッテリーパックが1個充電できる充電器PWC-A071-A1と、最大4個充電できる4連充電器PWC-A074-A1があります。

### 注 意

- ◆ バッテリーパックの充電は周囲の温度が0℃～40℃で行ってください。
- ◆ 充電器の端子部にほこりや金属物を付着させないでください。
- ◆ ACアダプタの着脱を行う時は、バッテリーパックを装着しないでください。
- ◆ 使用後はACケーブルをコンセントから抜いてください。
- ◆ バッテリーパックを装着したままにしないでください。
- ◆ 充電器にはカーチャージャを接続しないでください。

### ■ 充電器の各部の名称

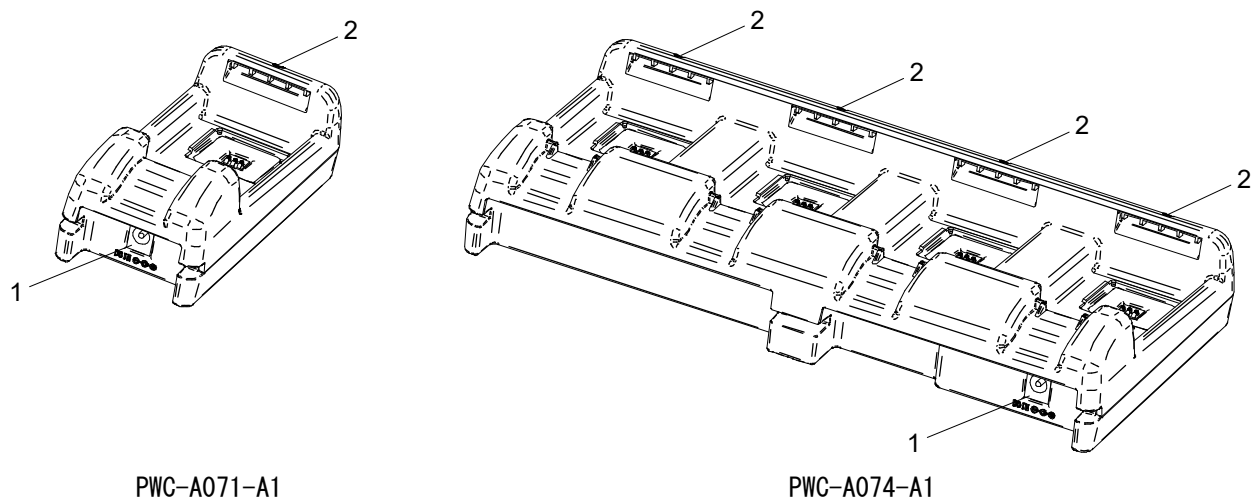


図 17-1 各部の名称

#### 1 電源コネクタ

ACアダプタのDCプラグを接続します。

#### 2 LED

バッテリーパックの充電状態を表示します。

## ■充電器のLED表示

表 17-1 充電器の状態

バッテリーパックの状態	LED	
	色	点灯パターン
バッテリーパック未装着	緑	点灯
充電完了	緑	点灯
充電中	橙	点灯
充電温度エラー	赤	点滅-2
バッテリー装着エラー	赤	点滅-3
バッテリーエラー	赤	点滅-4
ハードウェアエラー	赤	点灯

表 17-2 LEDの点滅パターン

状態	パターン
点滅-2	
点滅-3	
点滅-4	

## ■充電器とACアダプタの接続

ここでは充電器PWC-A071-A1とACアダプタの接続方法について説明します。  
バッテリーパックは充電器から外しておいてください。

- ① ACアダプタにACケーブルを接続してください。
- ② 充電器の電源コネクタにACアダプタのDCプラグを接続してください。  
ACアダプタのケーブルは、図 17-3のように、充電器の溝部に固定してください（左右両側の溝どちらでも固定できます）。
- ③ ACケーブルのACプラグをコンセントに接続してください。  
充電器のLEDは、消灯から緑点灯へ変わります。

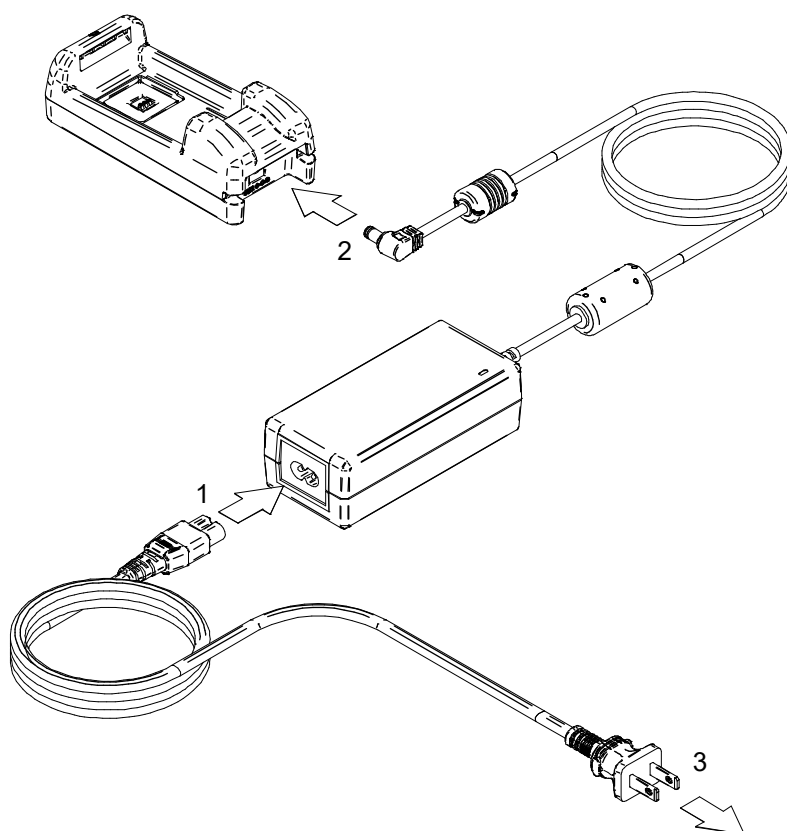


図 17-2 充電器とACアダプタ、ACケーブルの接続

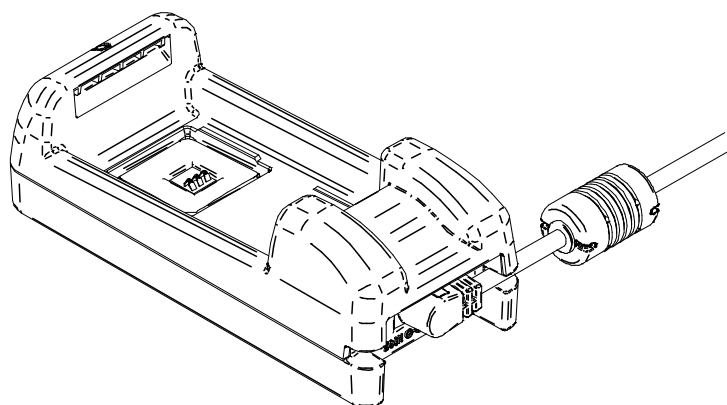


図 17-3 ケーブルの固定

## ■充電器によるバッテリーパックの充電

ここでは充電器PWC-A071-A1によるバッテリーパックの充電方法について説明します。

バッテリーパックは、図 17-4の向きで充電器に取り付けます。

バッテリーパックは正しい向きで挿入しないと取り付けられません。

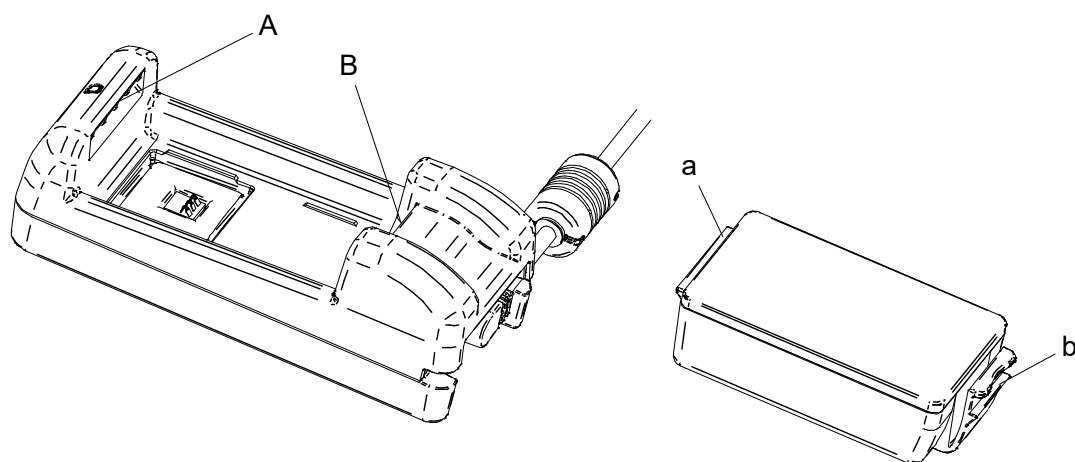


図 17-4 バッテリーパックの向き

- ① バッテリーパックのツメa部を、充電器の溝A部の下に入れてください。

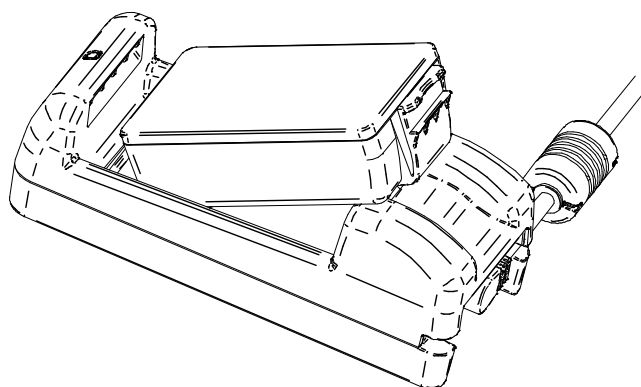


図 17-5 バッテリーパックの充電器への取り付け (1)

- ② 図 17-6の矢印の方向に、バッテリーパックのツメb部が充電器の溝B部にロックされるまでバッテリーパックを押し込んでください。

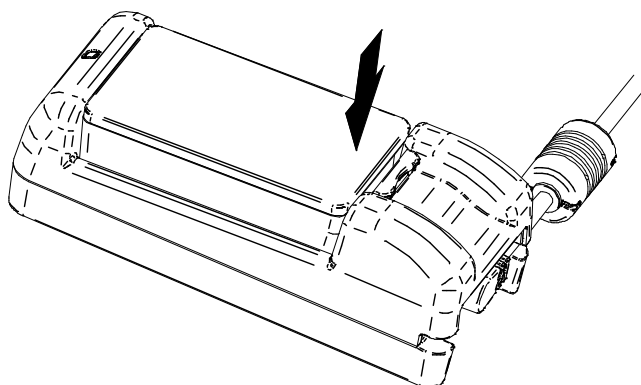


図 17-6 バッテリーパックの充電器への取り付け (2)

- ③ バッテリーパックが確実に取り付けられたことを確認してください。
- バッテリーパックのツメa部が充電器の溝A部の下にあること
  - バッテリーパックのツメb部が充電器の溝B部にロックされていること
- ④ 充電器のLEDが橙色点灯に変わり充電を開始します。  
充電中は充電器のLEDは橙色点灯のままです。  
LEDが橙色点灯に変わらない場合は、バッテリーパックをセットし直してください。  
バッテリーパックをセットし直してもLEDが橙色点灯に変わらない場合は、「■充電エラー時の対応」に従って対処してください。
- ⑤ 充電が完了すると充電器のLEDが緑色点灯に変わります。  
バッテリーパックのレバーc部を図 17-7の矢印1の方向に押しながら、矢印2の方法に引き上げてバッテリーパックを取り外してください。  
充電途中にバッテリーパックを取り外しても問題ありません。  
充電中にバッテリー装着エラー、またはバッテリーエラーが発生した場合、LEDが赤色点滅になります。  
この場合は、「■充電エラー時の対応」に従って対処してください。

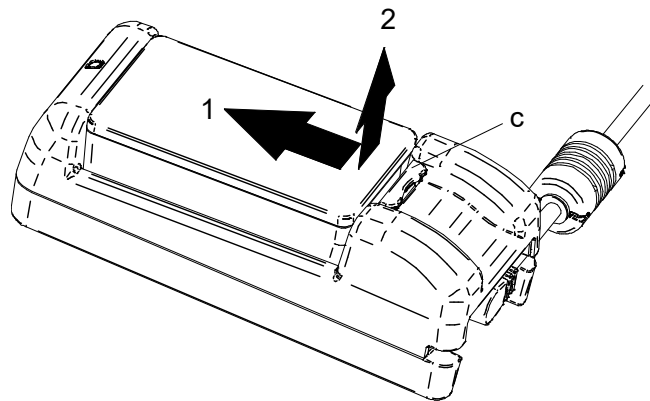


図 17-7 バッテリーパックの充電器からの取り外し

#### ヒント

- 充電時間は周囲の温度やバッテリーパックの状態により変わります。バッテリーを使い切った状態から充電完了までの時間は、PWC-A071-A1を使用した場合約4時間、PWC-A074-A1を使用した場合約5時間かかります。
- 充電器とACアダプタは、使用中若干熱を持つことがありますが異常ではありません。



## ■充電エラー時の対応

表 17-3 充電エラー時の対応

現象	考えられる原因	対処方法
LEDが点灯しない	電源が接続されていない	ACアダプタおよびACケーブルを確実に接続してください。
	ACアダプタが故障している、またはACケーブルが断線している	ACアダプタまたはACケーブルを交換してください。
	充電器が故障している	充電器を交換してください。
バッテリーパックをセットしていない状態でLEDが緑色点灯以外を表示する	充電器が故障している	充電器を交換してください。
LEDが充電温度エラーを表示する	バッテリーパックの温度が動作温度（充電時）の範囲外となっている	バッテリーパックの温度が動作温度（充電時）の範囲内になると充電を再開します。 周囲の温度が0～40℃の場所でしばらく待ってください。
LEDがバッテリー装着エラーを表示する	バッテリーパックが正しくセットされていない	バッテリーパックをセットし直してください。
	端子の接触不良	バッテリーパックを一度取り外し、端子部の汚れを拭き取ってから、再度セットしてください。
	バッテリーパックが故障している	バッテリーパックを交換してください。
LEDがバッテリーエラーを表示する	バッテリーパックが故障している	バッテリーパックを交換してください。
LEDがハードウェアエラーを表示する	充電器またはACアダプタが故障している	充電器またはACアダプタを交換してください。

## ■設置方法

充電器は図 17-8に記載している底面の穴を使用して、壁に掛けて使用することもできます。

- 推奨ねじ：なべ小ねじ 3mm  
(ねじ頭部形状：φ5.5mm、頭部高さ：2mm)

### 取り付け寸法

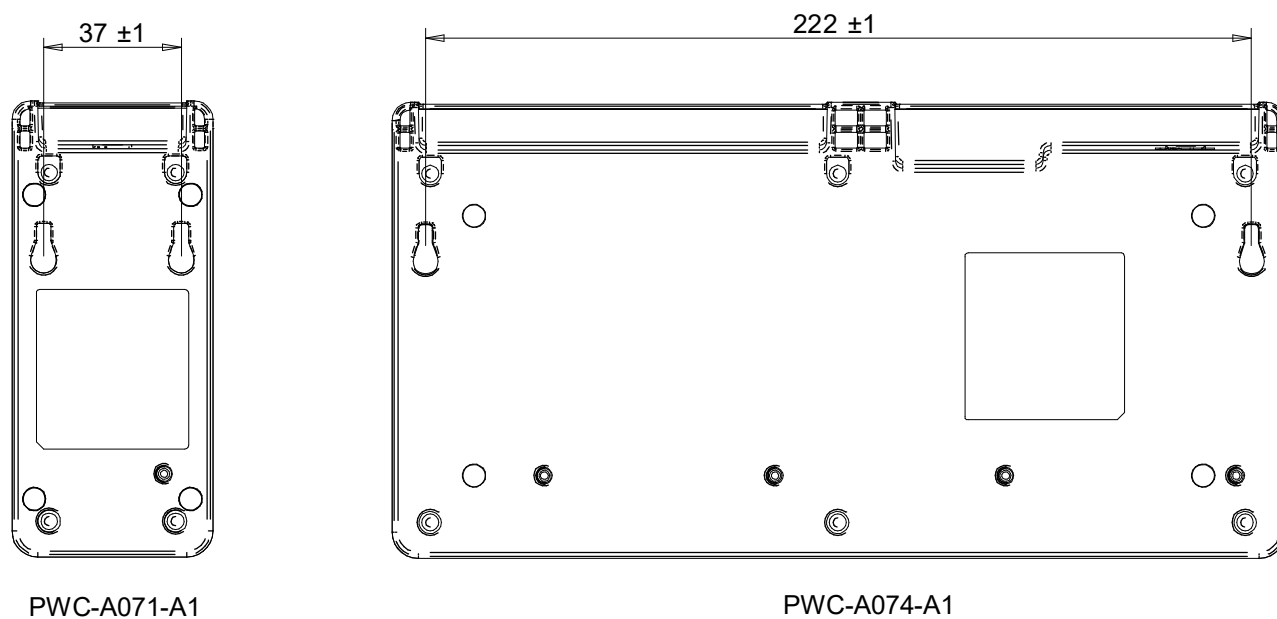


図 17-8 充電器底面図

#### 注 意

- ◆ 掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、充電器は確実に壁に設置してください。落下によりケガ及び器物を破損する恐れがあります。

## 18 プリンタのメンテナンス

プリンタのサーマルヘッドは基本的にメンテナンスの必要はありません。

サーマルヘッドに紙粉が堆積した時は、サーマルヘッドのクリーニングを行うと、プリンタの印字品質を長期間に渡って維持することができます。

### ■サーマルヘッド／プラテンのクリーニング

- ① プリンタの電源を切ってください。
- ② バッテリパックを外してください。  
ACアダプタが接続されている場合は、ACケーブルのACプラグをコンセントから抜いてください。
- ③ ペーパーカバーを開けてください。
- ④ 少量のエチルアルコールで湿らせた綿棒で、サーマルヘッドやプラテンの汚れを拭き取ってください。（図 18-1参照）

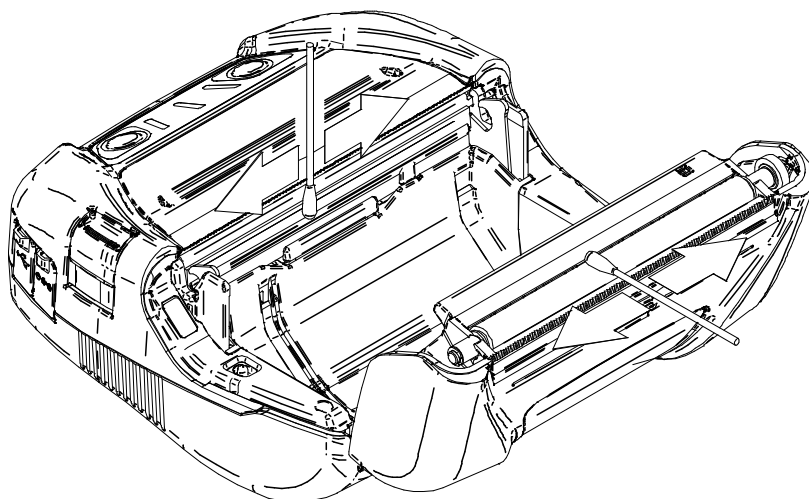


図 18-1 サーマルヘッド／プラテンのクリーニング

- ⑤ サーマルヘッドとプラテンに付着したエチルアルコールが完全に揮発してから、ペーパーカバーを閉じてください。

#### 注 意

- ◆ サーマルヘッドのクリーニングは、サーマルヘッドの温度が下がってから行ってください。
- ◆ サーマルヘッドは必ず綿棒などのやわらかいもので拭いてください。
- ◆ ペーパーカッターが、プリンタ本体側とペーパーカバー側の2ヶ所にあります。クリーニング時、ペーパーカッターで手を切らないように注意してください。
- ◆ プラテンに付いているギアには触れないようにしてください。印字品質が低下したり、故障の原因になる場合があります。

## 19 困った時に

修理を依頼される前に、以下のことを確認してください。

### ■電源が入らない

- ◆ 指定のバッテリーパックまたはACアダプタを使用していますか。
- ◆ バッテリーパックは十分に充電されていますか。
- ◆ バッテリーパックは正しく装着されていますか。
- ◆ ACケーブルとACアダプタは正しく接続されていますか。
- ◆ ACアダプタとプリンタは正しく接続されていますか。

### ■何も印字されない・通信ができない

- ◆ インタフェースケーブルは正しく接続されていますか。
- ◆ インタフェースケーブルの仕様は合っていますか。
- ◆ 使用する通信方式とプリンタは合っていますか。
- ◆ Bluetooth、無線LANの交信状態は良好ですか。
- ◆ プリンタとホスト装置との通信条件は合っていますか。
- ◆ 指定感熱紙を使用していますか。また、感熱紙の表裏は正しいですか。

### ■エラー表示された時

- ◆ 「7 プリンタのLED表示」を参照してください。
- ◆ プリンタの機能設定は合っていますか。

### ■バッテリーパックが装着できない

- ◆ バッテリーパックの向きは正しいですか。
- ◆ 指定のバッテリーパックを使用していますか。

### ■バッテリーを充電してもすぐに使えなくなってしまう

- ◆ 充電方法は正しいですか。
- ◆ 正しく充電しているのに容量が回復しない時は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックと交換してください。

## 20 仕様

### ■ プリンタ仕様

項目	仕様
型名	MP-A40-B06JK1 (Bluetooth搭載モデル) MP-A40-B06JK2 (Bluetooth搭載モデル) MP-A40-W06JK1 (無線LAN搭載モデル)
印字方式	感熱方式
ドット密度	8 ドット/mm
紙幅/印字幅 (有効ドット数)	80 mm / 72 mm (576ドット) 100 mm / 92 mm (736ドット) 105 mm / 97 mm (776ドット) 112 mm / 104 mm (832ドット)
印字桁数*1	紙幅 80 mm : 24ドット × 12ドット 48桁 16ドット × 8ドット 72桁 紙幅100 mm : 24ドット × 12ドット 61桁 16ドット × 8ドット 92桁 紙幅105 mm : 24ドット × 12ドット 64桁 16ドット × 8ドット 97桁 紙幅112 mm : 24ドット × 12ドット 69桁 16ドット × 8ドット 104桁
文字の大きさ (縦×横)	半角: 24ドット × 12ドット、16ドット × 8ドット 全角: 24ドット × 24ドット、16ドット × 16ドット
最高印字速度	105 mm/s
動作温度	-20℃ ～ 50℃
相対湿度*2	10%RH ～ 90%RH
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	156 mm × 152 mm × 71 mm
質量	約760 g (バッテリーパック含む、感熱紙を除く)
落下耐性	2 m (6.6 feet)*3
防塵防滴	IP54*3

\*1: 半角文字、文字間スペース0ドット時

\*2: 各温度での保証可能湿度は「MP-A40シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください

\*3: 当社規定による試験値であり、保証値ではありません

### ■ ACアダプタ仕様

(指定オプション製品)

項目	仕様
型名	PW-D0940-W2
入力電圧	AC100-240 V、50/60 Hz
定格出力	DC9.0 V、4 A
動作温度	0℃ ～ 40℃
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	53 mm × 114 mm × 37 mm*
質量	約318 g

\*: ケーブル部を除く

## ■ バッテリパック仕様

(指定オプション製品)

項目	仕様
型名	BP-A0720-A1*
使用電池	リチウムイオン
定格電圧	DC7.4 V
定格容量	1950 mAh
動作温度	-20℃ ～ 50℃ (印字時) 0℃ ～ 40℃ (充電時)
質量	約119 g

\*: MP-A40-B06JK2では使用できません。

(指定オプション製品)

項目	仕様
型名	BP-A0720-B1
使用電池	リチウムイオン
定格電圧	DC7.4 V
定格容量	1950 mAh
動作温度	-20℃ ～ 55℃ (印字時) 0℃ ～ 40℃ (充電時)
質量	約119 g

## ■ 充電器仕様

(指定オプション製品)

項目	仕様
型名	PWC-A071-A1
入力電圧	DC9.0 ～ 12.0 V
充電指定バッテリーパック	BP-A0720-A1、BP-A0720-B1
動作温度	0℃ ～ 40℃
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	54 mm × 123 mm × 41.3 mm
質量	約82 g

## ■ 4連充電器仕様

(指定オプション製品)

項目	仕様
型名	PWC-A074-A1
入力電圧	DC9.0 V
充電指定バッテリーパック	BP-A0720-A1、BP-A0720-B1
動作温度	0℃ ～ 40℃
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	240 mm × 123 mm × 41.3 mm
質量	約304 g

## ■カーチャージャ仕様

(指定オプション製品)

項目	仕様
型名	CC-A12-A1
入力電圧	DC12.0 V、DC24.0 V
定格出力	DC12.0 V、1.5 A
動作温度	0℃ ～ 40℃
外形寸法（幅×奥行×高さ）	107 mm × 38 mm × 20.4 mm*
質量	約70 g

\*: ケーブル部を除く

## ■インタフェース仕様

### USBインタフェース仕様

項目	仕様
バージョン	Ver. 2.0
プリンタデータ転送モード	バルク転送（12 Mbps）

### Bluetoothインタフェース仕様

項目	仕様
バージョン	Ver. 4.1
送信電力クラス	クラス2
プロファイル	SPP、iAP2

### 無線LANインタフェース仕様

項目	仕様
対応規格	802.11b/g/n、802.11a/n
ネットワーク構成	インフラストラクチャ
ステーションタイプ	アクセスポイント（Simple AP）、クライアント（Clientモード）
認証/暗号化	Open、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSK、EAP-TTLS*、PEAP*

\*: Clientモードのみ

## ■販売対象国

プリンタの販売対象国は、以下の通りです。

国/地域 <sup>*1</sup>	Bluetooth搭載モデル		無線LAN搭載モデル <sup>*2</sup>
日本	MP-A40-B06JK1	MP-A40-B06JK2	MP-A40-W06JK1J
USA カナダ			MP-A40-W06JK1U
EU EFTA 英国			MP-A40-W06JK1E
トルコ			
ブラジル		-	-

\*1: 記載国/地域以外での使用可否は弊社営業までご確認ください。

\*2: 国/地域により機種が異なります。

指定オプション製品の販売対象国は、以下の通りです。

国/地域 <sup>*1</sup>	バッテリーパック	ACアダプタ	充電器	カーチャージャ	ACケーブル
日本	BP-A0720-A1 BP-A0720-B1	PW-D0940-W2	PWC-A071-A1 PWC-A074-A1	CC-A12-A1	CB-JP04-18A-E
USA カナダ					CB-US04-18A-E
EU EFTA トルコ					CB-CE01-18B-E
英国					CB-UK01-20A-E
ブラジル					*2

\*1: 記載国/地域以外での使用可否は弊社営業までご確認ください。

\*2: ブラジル国内の安全規格に適合した全長2.0mのACケーブルをご使用ください。



## 21 オプション製品、消耗品構成

### ■ 指定オプション製品

名称	型名
バッテリーパック	BP-A0720-A1*1 BP-A0720-B1
ACアダプタ	PW-D0940-W2
ACケーブル*2	CB-JP04-18A-E CB-US04-18A-E CB-CE01-18B-E CB-UK01-20A-E
充電器	PWC-A071-A1 PWC-A074-A1
カーチャージャ	CC-A12-A1
ショルダストラップ	STR-A03-1
USBインタフェースケーブル	IFC-U01-1-E
キャリングケース	CVR-402-1

\*1: MP-A40-B06JK2では使用できません。

\*2: コンセントの形状は国によって異なりますので、事前にご確認ください。

### ■ 指定感熱紙 \*1 \*2 \*3

種類	型名	メーカー名
レシート	TF50KS-E2D	日本製紙
	PD160R	王子製紙
	P220VBB-1	三菱製紙
	Alpha400-2.1*4	Appvion
	KT48PF	Papierfabrik August Koehler
	F5041	Mitsubishi HiTec Paper
ラベル紙*5	HW76MW	リンテック
	KIP370*6	Kanzaki Specialty Papers
	KLS46*4*6	KANZAN Spezialpapiere

\*1: 弊社ではお取り扱いしておりません。

\*2: 最大径φ58mmのロール紙が使用できます。

紙幅112mm/105mm/100mm/80mmのものが使用できます。

紙幅は、巻きズレを含め最大幅が各紙幅+0.5mm以下のものを使用してください。

\*3: マークの位置と仕様、およびラベル紙の寸法については、「MP-A40シリーズ サーマルプリンタ 技術説明書」を参照してください。

\*4: 高印字率の印字をすると印字品質が劣化することがあります。

\*5: 低温環境（0℃以下）では、印字内容により印字品質が劣化することがあります。プリンタにて印字品質を十分ご確認ください。

\*6: ラベル紙に使用する上面の紙の型番です。ラベル加工で使用する剥離紙の種類等によっては印字品質を満足できない場合があります。ラベル加工されたもので事前にご確認ください。

指定感熱紙以外の感熱紙をご使用になった場合、印字品質やサーマルヘッドの寿命を保証できない場合があります。

## 22 メモリスイッチ設定内容一覧

  は初期設定です。

### 基本設定1

MS	機能	値	
		0	1
1-1	通信選択 (Interface)	USBのみ (USB)	USB/Wireless
1-2	マークモード選択 (Mark Mode)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
1-3～5	コマンド体系選択 (Command System)	<b>000B:ESC/POS</b> 011B:HTML 100B:CPCL 上記以外設定禁止	
1-6	エラー時データ破棄選択 (Error Through)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
1-7	ACによる電源自動ON選択 (Auto Activation by AC)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
1-8	出力バッファフル時データ破棄選択 (Response Data Discarding)	有効 (Enable)	無効 (Disable)

### 基本設定2

MS	機能	値	
		0	1
2-1	紙セット後の初期化動作選択 (Paper Set Handle)	頭出し (Form Feed)	なし (None)
2-2	リアルタイムコマンド選択 (Realtime Command)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
2-3～4	印字品質選択 (Print Quality)*	01B:品質2 10B:品質1 <b>11B:標準</b> 上記以外設定禁止	
2-5～6	LED明度選択 (LED Brightness)	00B:レベル1(Level1)最小 01B:レベル2(Level2) 10B:レベル3(Level3) <b>11B:レベル4(Level4)最大</b>	
2-7	予約済み (Reserved)	-	固定
2-8	ACによる電源自動OFF選択 (Auto Deactivation by AC)	有効 (Enable)	無効 (Disable)

\*:標準 : 最も高速に印字することができます。標準的な印字品質です。

品質1 : 「標準」より印字速度が低下しますが、イメージやバーコードの印字に適しています。

品質2 : 「品質1」より印字速度が低下しますが、最も高品質に印字することができます。

基本設定3

MS	機能	値	
		0	1
3-1～6	紙幅選択 (Paper Width)	011000B: 80 mm / 576ドット 101100B: 100 mm / 736ドット 110001B: 105 mm / 776ドット <b>111000B: 112 mm / 832ドット</b> 上記以外設定禁止 ( 設定値=(ドット数-384)/8 )	
3-7	予約済み (Reserved)	-	固定
3-8	予約済み (Reserved)	-	固定

基本設定4

MS	機能	値	
		0	1
4-1～8	印字濃度選択 (Print Density)	01000110B: 70% 01001011B: 75% 01010000B: 80% 01010101B: 85% 01011010B: 90% 01011111B: 95% <b>01100100B: 100%</b> 01101001B: 105% 01101110B: 110% 01110011B: 115% 01111000B: 120% 01111101B: 125% 10000010B: 130% 10000111B: 135% 10001100B: 140%	

基本設定5

MS	機能	値	
		0	1
5-1～8	感熱紙選択 (Thermal Paper)	<b>00000000B: TF50KS-E2D</b> 00000001B: PD160R 00000010B: P220VBB-1 00000011B: Alpha400-2.1 00000100B: KT48PF 00000101B: F5041 00000110B: HW76MW 00000111B: KIP370 00001000B: KLS46 上記以外: 禁止	

オートパワーオフ時間設定

MS	機能	値	
		0	1
7～8	オートパワーオフ時間設定 (Auto Power Off Time) MS7：下位8ビット MS8：上位8ビット	秒単位で設定 (上位下位合わせて0 ～ 65535秒、 <b>0はオートパワーオフ無効</b> ) ACによる電源自動OFF選択 (MS2-8) を有効にした場合、 <b>オートパワーオフ無効</b>	

ESC/POS設定

MS	機能	値	
		0	1
9-1	自動ステータス応答機能選択<ESC/POS> (Auto Status Back<ESC/POS>)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
9-2	イニシャライズ完了応答選択<ESC/POS> (Init. Response<ESC/POS>)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
9-3～8	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定

## HTML設定

MS	機能	値	
		0	1
10-1	自動ステータス応答機能選択<HTML> (Auto Status Back<HTML>)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
10-2	イニシャライズ完了応答選択<HTML> (Init. Response<HTML>)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
10-3～8	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定

## コマンド設定

MS	機能	値	
		0	1
13-1	漢字コード体系 (Kanji Code)	シフトJISコード (Shift-JIS Code)	JISコード (JIS Code)
13-2	180°反転機能選択 (Reverse Function)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
13-3～8	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定
	予約済み (Reserved)	－	固定

国際文字設定

MS	機能	値	
		0	1
15	国際文字設定 (International Character Select)	<b>00000000B: アメリカ (USA)</b> 00000001B: フランス (France) 00000010B: ドイツ (Germany) 00000011B: イギリス (United Kingdom) 00000100B: デンマーク I (Denmark I) 00000101B: スウェーデン (Sweden) 00000110B: イタリア (Italy) 00000111B: スペイン I (Spain I) 00001000B: 日本 (Japan) 00001001B: ノルウェー (Norway) 00001010B: デンマーク II (Denmark II) 00001011B: スペイン II (Spain II) 00001100B: ラテンアメリカ (Latin America) 00001101B: 設定禁止 00001110B: 設定禁止 00001111B: 設定禁止 00010000B: 設定禁止 00010001B: アラビア (Arabia) 上記以外: 禁止	

文字コードテーブル設定

MS	機能	値	
		0	1
16	文字コードテーブル設定 (Character Code Table Select)	<b>00000000B: USA, Standard Europe (Code Page 437)</b> 00000001B: Katakana 00000010B: Multilingual (Code Page 850) 00000011B: Portuguese (Code Page 860) 00000100B: Canadian-French (Code Page 863) 00000101B: Nordic (Code Page 865) 00001101B: Turkish (Code Page 857) 00001110B: Greek (Code Page 737) 00010000B: Latin (Code Page 1252) 00010001B: Russian (Code Page 866) 00010010B: Eastern Europe (Code Page 852) 00010011B: Euro (Code Page 858) 00100010B: Cyrillic (Code Page 855) 00100101B: Arabic (Code Page 864) 00101101B: Central European (Code Page 1250) 00101110B: Cyrillic (Code Page 1251) 00101111B: Greek (Code Page 1253) 00110000B: Turkish (Code Page 1254) 11111111B: ユーザページ (User Page) 上記以外: 禁止	

マーク位置補正

MS	機能	値	
		0	1
21～22	マーク位置補正 (Mark Position Correction) MS21：下位8ビット MS22：上位8ビット	上位8ビット下位8ビット合わせて -48 ～ 2400ドット (初期設定：0)	

マーク検出最大紙送り長さ設定

MS	機能	値	
		0	1
23～24	マーク検出までの最大紙送り長さ (Mark Detection Maximum Feeding Length Setting) MS23：下位8ビット MS24：上位8ビット	上位8ビット下位8ビット合わせて 1 ～ 2400ドット (初期設定：2400)	

マーク検出しきい値

MS	機能	値	
		0	1
25-1～8	マーク検出しきい値 (Mark Detection Threshold Value)	01H ～ EFH (初期設定：18H)	

Bluetooth通信設定

MS	機能	値	
		0	1
-	iOS自動接続選択 (Auto Connection)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
	予約済み (Reserved)	-	固定
	検索応答選択 (Inquiry Response)	常時応答 (Always)	ペアリングモード (Pairing Mode)
	プロファイル選択 (Profile)	iAP2	SPP
	予約済み (Reserved)	-	固定



## セイコーインスツル株式会社

プリントシステム事業部

千葉県千葉市美浜区中瀬1-8 〒261-8507

電話番号：043-211-1212（直通） ファクシミリ：043-211-8037

ホームページ：<https://www.sii-ps.com>

ダウンロードページ：<https://www.sii.co.jp/sps/download/index.html>

大阪営業所

大阪府大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館 〒531-0072

電話番号：06-7711-0858（直通） ファクシミリ：06-7711-0856

©本書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。

---